

令和4年3月25日

大学コンソーシアム香川
委員各位

大学コンソーシアム香川
会長 末吉 高明

大学コンソーシアム香川 令和3年度第3回総会（書面審議）の開催について

日頃より大学コンソーシアム香川の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。
第2回運営委員会時にお話しさせていただきました通り、標記総会を書面審議にて開催いたします。

記

議題：

1. 令和3年度事業報告について
2. 大学・地域共創プラットフォーム香川の設立及び
大学・地域共創プラットフォーム香川の設立に伴う今後の方針について

【問い合わせ先】

大学コンソーシアム香川事務局
(四国学院大学リエゾン・センター) 目黒・延原
TEL : 0877-62-2208

大学コンソーシアム香川
令和3年度第3回総会 次第

日時：令和4年3月25日（書面審議）

【議題】

1. 令和3年度事業報告について

- ・大学コンソーシアム香川 令和3年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】
- ・大学コンソーシアム香川 令和3年度収支決算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2】
- ・大学コンソーシアム香川 監査結果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3】

第2回運営委員会（令和3年3月10日開催）において承認された、事業報告（自己評価含む）、令和3年度収支明細に基づき作成した令和3年度収支決算書、監事（徳島文理大学、香川高等専門学校）による監査結果について、資料のとおりご報告します。なお、運営委員会後には各構成員校への補正予算に係る会費の差額返還と「大学・地域共創プラットフォーム香川」設立総会開催経費負担分の支払いを行いましたので、ご確認ください。

資料1～3をご確認いただき、承認をお願いいたします。また、ご意見がある場合は、ご連絡をお願いいたします。

2. 大学・地域共創プラットフォーム香川の設立及び

大学・地域共創プラットフォーム香川の設立に伴う今後の方針について

- ・高等教育機関連携推進委員会からの報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4】
- ・令和3年度ニーズ調査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料5】
- ・大学・地域共創プラットフォーム香川の設立について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6】
- ・四国職業能力開発大学校の加入について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料7】

第2回運営委員会（令和3年3月10日開催）において確認された、高等教育機関連携推進委員会からの報告について、令和3年度ニーズ調査について、大学・地域共創プラットフォーム香川の設立について、四国職業能力開発大学校の加入について、資料及び下記記載にてご報告いたします。ご確認ください、承認をお願いいたします。

【資料4】高等教育機関連携推進委員会からの報告について

大学等への進学指導に関するアンケートと私立大学等改革総合支援事業「タイプ3」については、引き続き新体制プラットフォームにおいても取り組ませていただきたいとの意向が確認されました。

【資料5】令和3年度ニーズ調査について

ニーズ調査の進捗につきましては、香川県より3月15日に納品された集計データをもとに現在分析や修正を行っているとの報告がありました。

【資料6】大学・地域共創プラットフォーム香川の設立について

規約等の確認が行われ、令和4年度の進め方としては、下記内容が確認されました。

- ・現在大学コンソーシアム香川とCOC+-NEXTかがわで取り組んでいる事業について、プラットフォームにおいては、6～7月に予定しているプラットフォームの総会にて新規事業と併せて審議されることとなるが、当面の間は継続実施に向け、予算執行を伴わない準備行為を行うこととする。
- ・継続事業は当面の間、現在担当する大学等が引き続き事業実施を担当する。担当大学は事業内容について部会の幹事に情報提供する。
- ・大学等の広報費は大学等で負担。COC+-NEXTかがわの継続事業は全てゼロ予算事業であるためCOC+-NEXTかがわに係る大学等の負担はない。
- ・継続事業と並行して新組織設立後、各部会で関係者との協議のうえ、令和4年度及び令和5年度からの取組みを取りまとめる。

【資料7】四国職業能力開発大学校の加入について

令和4年度以降継続的に協議することが確認されました。

大学コンソーシアム香川 令和3年度事業報告

	取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2021年度		
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価
1	出前講座等	出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。	年度初めに情報公開 高校にアンケート調査 毎年5件ずつ増加 2023年度 150件	・講座名や内容を年度初めに情報公開する。 ・高校からの依頼数が増えるよう取り組む。 ・2021年度目標140件。	実施件数:123件 ・計画通り、情報を各高校へ郵送及びホームページにて公開した。	B 昨年度比では増加となったが、一昨年度比では減少となった。実施件数の増加につなげるため、コロナ禍での対応(遠隔での実施等)については引き続き検討する必要がある。
2	合同進学説明会	共同で高校に出向いて進学説明会を実施する。	毎年1校ずつ増加 業者主催の説明会との差別化 2023年度 7校	・学部・学科等に係る分野別説明会の実施を検討する。 ・目標5校	・4校で実施した。 ・高校の希望に応じて、高校が指定する学部・学科等の説明を行った。	B 高校の希望に応じて、大学生からの説明を3校で実施した。引き続き、高校等からの意見を踏まえ、改善を図りながら実施数を増やす必要がある。
3	公開授業参観日	中・高校生等の知的好奇心醸成のため、公開授業参観日を実施する。	参加大学等を毎年増やし全大学等の参加をめざす 2023年度 2回(土・日曜日)	・年1～2回、土・日曜日に実施する。 ・コロナ禍における開催方法を検討する。	下記の通り、2大学で実施。HP等での告知を行い、中高生や教員から参加があった。 ・せとうち観光専門職短期大学 「臨地実務実習Ⅰ 学生報告会」(令和3年12月3日) ・四国学院大学 「超高齢化社会と演劇ワークショップ」(令和3年11月20日)	A 大学等の実際の授業を見ていただくプログラムとして、今年度は内容の見直しを行い、開催することができた。 2回開催の目標は達成できたが、各構成員校の特色をより多く知ってもらうべく、多くの大学等に開催していただけるよう検討していきたい。
4	公開講座	生涯学習の観点から、大学等の知的財産を地域の人々に提供する。 内容の充実を図る。	各大学等独自開催の公開講座に加え、年1回共同開催	「香川県、讃岐、うどん県」というキーワードに基づき、リレー方式で各大学等において開催する。	各大学等において、テーマ、講師、開催日時等を決め、募集用チラシを作成。大学コンソーシアム香川HPへの掲載や各大学等でチラシを配布した。各大学等の実施状況については、以下のとおり。	B 4大学等で4講座を開催する予定で募集し、3大学で3講座を開催できた。

	取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2021年度			
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価	
					<ul style="list-style-type: none"> ・香川大学 「香川の手袋産業」 3月末まで「YouTube」に映像教材を一般公開。 ・香川短期大学 「デジタルアーカイブの活用で「地域」を歩くフィールドワーク」 令和4年1月29日、30日に対面で開催する予定で募集したが、コロナ禍のため、中止した。 ・四国学院大学 「うどん県で考える「健康」と「防災」のステキな関係～わかった！健康行動って防災活動にも効果あり！～」 令和3年12月3日に対面で開催。参加者は31名。 ・高松大学・高松短期大学 「屋島探訪 屋島の魅力を満喫PART2」 令和3年12月1日に対面で開催。参加者は12名。 		
5	自治体への情報提供	県内自治体が企画・開催する行事への積極的参加・支援を行う。	年度当初に情報提供を依頼 大学等は積極的に参加	<ul style="list-style-type: none"> ・県内自治体が企画・開催する行事への積極的参加・支援を行う。 ・自治体への依頼文書発送等を行う。 	6月に県内17自治体に対して県内大学等の情報提供先一覧とともに依頼した。	A	計画どおりに依頼。情報提供件数等については把握できていない。
6	大学発香川県ガイドの作成	大学等の知的財産を活用して、香川県の魅力を伝える。	1校当たり2～3件の執筆、約200ページのガイド本を作成	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学等に原稿依頼し、ホームページに掲載する。 	具体的な掲載形式等が決定しなかったため、原稿依頼できなかった。	D	香川県の魅力を効果的に伝えるための検討が不十分であった。抜本的な見直しとともに、まずは1件からでも掲載することが必要である。

	取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2021年度			
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価	
7	合同企業説明会	県や経済団体と連携して、就職を支援する。	年2～3回開催 参加学生数を毎年10人ずつ増やす 近年減少傾向にある参加者数を増加に転じる	<ul style="list-style-type: none"> 「かがわーくフェアの共催事業として1・2年生対象のキャリア支援研修会を実施し、就職活動の取り組みなど早期から就職に対する意識を向上させる。 高松商工会議所、香川県等と協力し、かがわーくフェア等への参加学生を増加させる。また、コロナ禍におけるWeb開催にも協力する。 目標参加延べ人数 580人。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、「就職活動の進め方等の説明」、「インターンシップの流れ」をWebによるキャリア支援研修会として実施。41名の参加希望があり、27名の参加となった。 かがわーくフェア及びCO-C-NEXTかがわの就職支援事業等への参加学生増加については、コンソーシアムで取り組み、Webながら増加させることが出来た。 参加延べ人数 405人+(Web参加の為確認できない人数が200名ぐらいいると考えられる。) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 目標である県や経済団体と連携して、就職を支援することについては、かがわーくフェアと連携できたことにより達成できたが、合同企業説明会への参加学生数を増加させることについては不十分である。
8	インターンシップの推進	経済団体と連携して、学生の企業に対する理解を深め、若者の県内定着増加に資する。	参加学生数を増やす 2023年度 1250人	<ul style="list-style-type: none"> 「かがわーくフェア」と連携して、研修会を実施し、学生の企業に対する理解を深め、若者の県内定着増加に資する。 大学コンソーシアム香川参加校のインターンシップ取り組みを強化する。 目標1100人 	<ul style="list-style-type: none"> かがわーくフェアの共催事業としてWebによる研修会を実施し「インターンシップの流れ」について説明した。 インターンシップを授業科目として単位化した短期大学が1校増えた。 インターンシップに取り組んだ学生数は 742人(内:香川大学の340人は2021.10現在の人数) 	C	<ul style="list-style-type: none"> 目標である経済団体と連携して、学生の企業に対する理解を深め、若者の県内定着増加に資することについては、まだ不十分である。「インターンシップの流れ」について研修会ができたこと、インターンシップを授業科目として単位化した短期大学が1校増えたことについては評価できる。
9	キャリア形成等プログラム	社会人のキャリア形成および県内産業の活性化に資する。香川県との共同事業が2019年度で終了。2020年度に新体制で実施する。	2023年度 3校参加 受講者11人	社会人のキャリア形成および県内産業の活性化に資する事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 社会人を対象とするリカレント専門講座を次のとおり開講した。 参加校:1校(香川大学) 講座数:2講座 合計受講者数:18名 	A	新たに社会人を対象とするリカレント専門講座を実施することができた。

	取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2021年度		
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価
10	単位互換	学生のニーズに合った科目を開講し、受講人数を増やす。 2023年度に講座数750、受講者20人をめざす。	2023年度 講座数750 受講者20人	・目標 730講座、履修学生数10人 ・学生のニーズを調査、研究する。	講座数 657 受講者数 19人	B 講座数は昨年度とほぼ同じであるが、受講者数が13人から19人に増加しており、中長期計画の達成が期待できる。
11	FD・SD活動	FD・SD活動を共同開催する。	2023年度 共同開催5回 受講者数140人 毎年1回ずつ増加 受講者は毎年30人ずつ増加	・共同開催できるよう内容等を検討する ・コロナ禍においてWeb開催を検討する。 ・目標3回実施、80人参加	共同開催1回 (香川大学主催) ●11/8 危機管理シンポジウム(オンライン同時配信による開催):参加者265名中、コンソーシアム構成機関からの出席者20名(香川大学以外2名) このほか、香川大学主催のKadaiDXシンポジウムについて、構成機関にも参加いただくよう案内した。	B 今年度は1回しか共同開催ができなかった。
12	リスクマネジメントへの取組	リスクマネジメントへの取組みを検討する。	2020年度以降 研究会・協議会等の年2回の開催	・共同開催できるよう内容等を検討する。 ・コロナ禍におけるWeb開催を検討する。 ・目標2回実施	共同開催1回 (香川大学主催) ●11/8 危機管理シンポジウム(オンライン同時配信による開催):参加者265名中、コンソーシアム構成機関からの出席者20名(香川大学以外2名)	B 今年度は1回しか共同開催ができなかった。開催機関である香川大学からの出席者は多いが、その他の構成機関からの出席者が少なかった。
13	国際交流	国際交流活動を共同開催し、各大学等の外国人学生の交流の場を設ける。 県内の国際交流機関等と連携する。	2023年度に共同開催2回、参加者70人をめざす	・各大学等の外国人学生の交流の場を設ける。 ・2021年度目標1回30人参加	コロナ対策のため、交流の場として計画していた本校の「サイエンスフェスタ」が中止となった。	B 来年度以降の検討課題とする。大学コンソーシアム香川の知名度が低く、連携協力を得るのが難しい。関係団体に協力要請をする必要がある。

	取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2021年度			
		達成目標	活動指標	計画	実績	評価	
14	広報活動	<p>「大学コンソーシアム香川」や大学等のホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。</p> <p>広報活動を通じて、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。</p>	<p>①オープンキャンパスの共同広告</p> <p>年1回新聞に掲載</p> <p>2020年度から新聞広告を取りやめ、ポスター及びリーフレットを1学期に1回配布する</p>	<p>・大学等の概要やオープンキャンパスの日程等を周知する。</p> <p>リーフレット：3年生全員数、2年生 50%、1年生 10%分作成・配布</p> <p>ポスター：学級数作成・配布</p> <p>・高校訪問時にコンソーシアム及び構成校の広報を行う。</p>	<p>高等学校43校に計画通り送付した。(7月1日)</p>	A	<p>高校生や保護者に直接配布できたことは新聞掲載よりも広告効果があったと考える。また、高校を訪問しての広報活動の際に直接進路指導担当教員に手渡し掲示をお願いできたことも効果があったと考える。</p> <p>オープンキャンパスはホームページも活用して広報できた。</p> <p>次年度は予備校や塾等への広報も検討したい。</p>
			<p>②高校にパンフレットスタンド設置を推進</p> <p>設置状況を年間3回確認し補充</p>	<p>・パンフレットスタンド設置を推進する。</p> <p>・パンフレットスタンドへの資料補充等に努める。</p>	<p>新たに1校設置し、設置校総数は23校となった。</p> <p>パンフレットスタンドには、年度初めに資料を配付し、その後は随時補充に努めた。</p>	B	<p>設置を希望する高校が少なかったのは、必要とする高校に概ね設置できたとも考えられる。また、設置したいがスペースを確保できない高校もある。高校や関係機関の意見も聞きながら取組を改善する必要がある。</p> <p>コロナ禍にあつて高校を訪問して直接資料を補充することは難しい場合もあったが、可能な限りの補充に努めた。</p>
			<p>③「キャンパスガイド」を作成し、高校生や中学生等に配布</p>	<p>1万1千部作成</p> <p>県内高校2年生、県内中学校の全学級、県及び各市町教育委員会、中高の校長会等に配布</p> <p>(県東京事務所、大阪事務所、ふるさと回帰支援センターにも送付)</p>	<p>9月に「キャンパスガイド」を11,000部作成し、県内高校生等に配布した。</p> <p>高校 43校 8,775部</p> <p>中学校 72校 1500部</p> <p>県高校長会、中学校長会において説明し、活用をお願いした。</p> <p>教員対象の「キャンパスガイド」利用マニュアルも作成した。</p>	A	<p>予定通り作成・配布できた。また、高等学校長や中学校長に直接説明できたことで有効な活用に繋がるものと考えられる。</p>

取組内容	中長期計画(2019年度～2023年度)		2021年度			
	達成目標	活動指標	計画	実績	評価	
		④「大学コンソーシアム香川」のホームページをリニューアルし、内容を充実させる。 年間50件以上の掲載	・「大学コンソーシアム香川」のホームページを随時更新して内容を充実させる。 目標 50件以上掲載	掲載情報の更新などにより、最新の情報発信に努めた。更新件数:27件	C	更新件数は昨年度の14件を上回ったが、コロナ禍により複数の取組が中止となったこと、コンソーシアム内での情報共有が十分でなかったことなどにより、計画の半数程度の更新に留まった。
		⑤2020年度の自県大学進学者の割合 目標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目標 52%	・2019年度に「第2期かがわ創生総合戦略」において、 2024年度の自県大学進学者の割合 目標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目標 52% を決定した。	2021年度の実績は、現時点で不明。	—	—

【評価】

- S:当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
- A:当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
- B:当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
- C:当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
- D:当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

大学コンソーシアム香川 令和3年度収支決算書

資料2

[収入の部]

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
会費	1,800,000	7,120,000	【令和3年度会費】 県内大学等 1,400千円 (@200千円×7団体) 香川県(県立保健医療大学含む) 400千円 【補正予算に係る会費】 県内大学等 1,330千円 (@190千円×7団体) 香川県(県立保健医療大学含む) 3,990千円
繰越金	696,000	696,075	
預金利子	0	13	R03.09.13 5円収入済 R04.03.14 8円収入済
その他の収入	0	6,860	かがわーくフェア「大学コンソーシアムキャリア研修」 オンライン開催に伴うサンポートホール高松使用料(返金分)
合計	2,496,000	7,822,948	

[支出の部]

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
需用費	50,000	34,320	・公開講座チラシ印刷代
役務費	20,000	26,846	・切手代 18,046円 ・振込手数料 8,800円
委託料	2,275,000	4,433,630	・情報提供業務(ポスター・チラシ) 462,000円 ・広報媒体設置業務 49,500円 ・キャンパスガイド製作等 1,558,700円 ・ニーズ調査業務委託 2,031,700円 ・「大学・地域共創プラットフォーム香川」設立総会 開催経費負担分 331,730円
報償費	110,000	25,000	・かがわーくフェア 「大学コンソーシアムキャリア研修」講師料
使用料・賃借料	40,000	11,610	かがわーくフェア「大学コンソーシアムキャリア研修」 サンポートホール高松使用料
公課費	1,000	3,242	・収入印紙 400円 ・源泉徴収税 2,842円
会費	0	3,288,300	【補正予算に係る会費の差額返還】 県内大学等 822,073円 (@117,439円×7団体) 香川県(県立保健医療大学含む) 2,466,227円
次年度への繰越金	0	0	
合計	2,496,000	7,822,948	

監 査 結 果 報 告

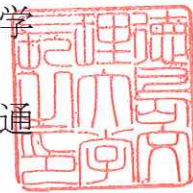
大学コンソーシアム香川の令和3年度収支決算について、関係諸帳簿により監査したところ、適正な執行が行われ、決算金額は適正でありましたので、報告します。

令和4年3月25日

大学コンソーシアム香川

監事 徳島文理大学

学長 田村 禎通



監事 香川高等専門学校

校長 田中 正夫



第1回会議（令和3年5月17日(月)10時30分～12時 オンライン開催）

出席者：香川短期大学、四国学院大学、高松大学・高松短期大学、徳島文理大学

(1) 令和3年度の取組について（令和2年度の取組やタイプ3の回答を踏まえて）

- 私立大学等改革総合支援事業タイプ3「地域社会への貢献」（PF型）について、令和3年度取組の充実方策について協議した。
- 取組充実のためには、産業界や「学生の香川県内定着プロジェクト推進協議会（COC+NEXT かがわ）」との連携が重要であり、香川県の協力を得ながら取組を進めることとした。
- キャリア支援の観点から、経済団体から講師を派遣してもらい、学生に対して香川県内の企業の職種等を紹介する事業の実施に向けて検討を進めることとした。
- コンソーシアムに産業界を加えた部会を立ち上げるとした香川県の構想を聞くため、次回推進委員会に地域活力推進課に参加していただくようお願いすることとした。

(2) ワーキンググループの改組について

- ワーキンググループを、取組ごとの小さな単位から、分野ごとの大きな単位でのワーキンググループに改組する方向で検討した。また、推進委員会としての案を決定した後、運営委員会に議題として提出することとした。
- 中長期計画（2019年度～2023年度）については、コロナ禍にあって計画通りに進んでいない事業もあるが、多少内容を変更してでも事業を実施し、結果を踏まえて必要であれば令和4年度総会で計画の見直しをしていただくこととした。
- せとうち観光専門職短期大学がコンソーシアムの構成員に加わる方向で手続きが進んでいることから、推進委員会においても次回会議から参加していただけるよう案内することとした。

第2回会議（令和3年8月6日(金)15時～16時7分 オンライン開催）

出席者：香川県政策部地域活力推進課、香川短期大学、四国学院大学、

せとうち観光専門職短期大学、高松大学・高松短期大学、徳島文理大学

(1) 令和3年度の取組について

- キャリア支援研修会（かがわーくフェア共催事業）がオンライン開催される旨の報告があった。また、参加学生の募集について協力要請があった。
- コンソーシアムと産業界との連携強化策について検討中であること、コンソーシアムとCOC+NEXT かがわの共通する取組などについて整理が必要であること、就職や教育の質の向上に結びつくような効果的な取組に繋がればよいのではないかと考えていること、コンソーシアムと産業界との連携の在り方が課題であることなどについて、地域活力推進課から説明があった。
- 各大学等が独自に行っている経済団体や企業との連携した取組についても推進委員会内で情報共有することとし、推進委員会での議論をコンソーシアム再編の検討の参考としていただきたいことなどを運営委員会に報告することとした。

(2) ワーキンググループの改組について

- 第1回会議の検討を踏まえてさらに検討した。特に、香川県と一緒に産業界との連携を深めたいことから産学官連携ワーキンググループという名称を使用したい旨、運営委員会に提案することとした。

(3) 令和3年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3「地域社会への貢献」(PF型)について

○調査表が近日中に公表される。設問に対する回答を推進委員会が作成し、運営委員会において検討していただいたうえで申請することとした。

第3回会議 (令和3年8月27日(金)10時30～11時30分 オンライン開催)

出席者：香川短期大学、四国学院大学、せとうち観光専門職短期大学、高松大学・高松短期大学、徳島文理大学

(1) 令和3年度私立大学等改革総合支援事業について

○タイプ3「地域社会への貢献」プラットフォーム型の基礎要件が、「プラットフォーム参画大学等」と、地方自治体及び産業界等が参加するプラットフォームの意思決定体制が整備されていることとされていることを踏まえて、今後の対応を検討した。

○産業界との連携については、今後のコンソーシアム体制整備の中で取り組んでいくこと、可能であればタイプ3の基礎要件を満たせるように今後取組んでいくこと、コンソーシアムへの参加については包括連携協定を締結している3つの経済団体と協議することなどとした。また、これらのことを地域活力推進課に伝えることとした。

(2) キャリア支援研修会について

○8月25日に、かがわーくフェア共催、大学コンソーシアム香川主催事業として、27名の学生が参加してオンライン開催され、学生からもよい研修であったと評価されたなどの報告があった。

(3) ワーキンググループの改組について

○第2回会議の検討を踏まえて、責任者や担当者などについても検討した。責任者は当該ワーキンググループの全体の責任者であり、個々の取組は責任者が中心となって担当者が担当することを強調して、運営委員会に提案することとした。

(4) パンフレットスタンド設置校について

○本年度は尽誠学園高校のみから設置の申し込みがあり、設置完了後に各運営委員に連絡して入学案内などの情報提供をお願いする旨の報告があった。

第4回会議 (令和3年9月13日(月)9時30分～11時23分 オンライン開催)

出席者：香川県政策部地域活力推進課、香川短期大学、四国学院大学、高松大学・高松短期大学、徳島文理大学

(1) 大学コンソーシアム香川における取組強化について

○地域活力推進課より大学コンソーシアム香川の新たな取組みの方向性(たたき台)について説明があった。また、今後コンソーシアム全構成校に事前説明を行った上で、運営委員会で協議する予定である旨の説明があった。

○産業界や県教育委員会も含めて部会の中で実質的な議論をしたい、新体制における事務局の在り方の検討が必要、地方創生の大きな方向性からは産官学が一緒になって取組むことが大きなテーマとなっている、コンソーシアムの現在の取組を活かしながら産業界・市町・教育委員会等に積極的に取り組んでもらうことが大切、オール香川の取組をしないと県内若者定着という課題は解決できない、コンソーシアムの体制強化についてできるだけ早い時期に方向性を決定して一歩を踏み出せるよう運営委員会で議論をお願いしたい、などの意見があった。

(2) 中長期計画(2019年度～2023年度)における令和3年度の取組について

○令和3年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3(PF型)については申請しないこととなった。

- 共同 I Rとして、県内高校の進路指導主事や3年学年主任を対象としたアンケートを作成し、高校の先生方がどのように進学指導をしているのかを調査・分析して、今後のコンソーシアムでの取組に活用することとした。

第5回会議（令和3年12月8日(水)15時～16時45分 オンライン開催）

出席者：香川短期大学、四国学院大学、せとうち観光専門職短期大学、高松大学・高松短期大学、徳島文理大学

(1) 共同 I Rについて

- 県内高校の進路指導主事等を対象としたアンケートの内容について検討した。本日の議論を基にアンケートを修正し、メールにて確認作業を行うこととした。
- コンソーシアムの活動報告会を年度末に開催することを念頭に、アンケート結果を運営委員会で分析する必要があることなどを確認した。

(2) 令和3、4年度の取組について

- 令和3年度の各事業の取組状況を確認するとともに、タイプ3の設問の中で実施できていない取組の実施について前向きに検討していくことを確認した。

(3) その他

- 「香川県内5大学間の学生関係連絡会」（12月7日開催）の協議内容について情報共有した。

第6回会議（令和4年2月21日(月)10時30分～12時00分 オンライン開催）

出席者：香川県政策部地域活力推進課、香川短期大学、四国学院大学、せとうち観光専門職短期大学、高松大学・高松短期大学、徳島文理大学

(1) 第2回運営委員会への提出議題について

- 運営委員会に報告する令和3年度推進委員会の活動報告について、次のことを確認した。
 - ・ワーキンググループ改組については新体制移行のため現時点では提案を見送る。
 - ・高校教員対象のアンケート調査については、県教委高校教育課の協力を得ながら、県高等学校長会の承認を得てから実施する。

(2) 新体制移行に関する現状について

地域活力推進課から説明を受け、質疑応答を行った。

(3) 新体制移行に伴う推進委員会としての対応について

- 大学コンソーシアム香川中長期計画（2019年度～2023年度）は、新しいプラットフォームの規程に含めるなど、継続して取り組んでいくことを確認した。
- 新しいプラットフォームにおいても、構成員に理解・協力いただき私立大学等改革総合支援事業にしっかりと取り組むことを確認した。
- インターンシップの実施件数は、正課として実施している臨地実習も含めてカウントすることを確認した。

ワーキンググループ改組(案)

資料4-2

ワーキンググループ改組案

新・ワーキンググループ(仮称)	現・ワーキンググループ	おもな取組	保健医療大	香川高専	香川大	香川短大	四国学院大	せとうち観光 専門職短大	高松大・ 高松短大	徳島文理大	香川県	事務局
企画・運営WG	事業管理・調整WG	企画・進捗管理・調整 IR 事業評価と報告				○	○		○	◎		
初等中等教育機関連携WG	出前講座等WG	出前講座等					◎					
	合同進学説明会WG	合同進学説明会									○	
	公開授業参観WG	公開授業参観					○	○				
		総合的な探究の時間					○					
地域貢献WG	公開講座WG	公開講座							◎			
	自治体連携WG	自治体連携							○			
	大学発香川県ガイド作成WG	大学発香川県ガイド作成		○		○				○		
産学官連携WG	合同企業説明会WG	合同企業説明会				◎					○	
	インターンシップ推進WG	インターンシップ推進				○					○	
	キャリア形成等プログラムWG	社会人キャリア形成			○						○	
高等教育機関連携WG	単位互換WG	単位互換	○									
	FD・SD研修WG	FD・SD研修			◎							
	リスクマネジメント活動WG	リスクマネジメント活動			○							
	国際交流推進WG	国際交流(学生交流)		○								
広報活動WG	広報活動WG	広報活動								◎	○	
	キャンパスガイドブック作成WG	キャンパスガイドブック作成									○	○

◎印はWG責任者兼担当者

○印は担当者

大学等への進学指導に関するアンケートへのご協力をお願い (案)

令和4年 月 日
大学コンソーシアム香川

平素は大学コンソーシアム香川における取組及び高校生の県内大学等への進学に関しまして、大変お世話になっております。この度、大学コンソーシアム香川では県内高校の先生方を対象にアンケート調査を行うこととなりました。

つきましては、校務多忙の折誠に恐縮に存じますが、アンケートにご協力賜りますようお願い申し上げます。

【大学コンソーシアム香川について】

大学コンソーシアム香川は、香川県及び香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校が相互に連携・交流し、県内の教育の質的向上を推進するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として平成27年(2015年)に設立されました。

また、設立の目的を達成するために次のような事業に取り組んでいます。

- ・県内大学等の情報の提供・広報に関する事業
- ・県内大学等相互及び地域との交流・連携を促進・支援する事業
- ・その他コンソーシアムの目的を達成するために必要な事業

詳細については、大学コンソーシアム香川のホームページをご覧ください。

URL : <http://www.bunri-u.ac.jp/kconsortium/index.html>

【アンケートの目的】

香川県が策定した「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画(令和3年度～令和7年度)の重点施策の一つに、大学と地域との連携を深めることで若者の県内定着に努めることが挙げられており、大学コンソーシアム香川においても自県大学進学者の割合を高める取組をしております。

今回、大学コンソーシアム香川では、香川県内の高校において進学指導等に携わっている先生方から、大学等への進学指導に関する情報を提供いただくことで、自県大学進学者の割合増加に繋げたり、県内初等中等教育機関との連携を深めたりするなど、大学コンソーシアム香川での取組に役立てたいと考えております。

【自県大学進学者の割合：香川県 (%)】

学校基本調査により算出

	平成28年4月	平成29年4月	平成30年4月	令和元年4月	令和2年4月
大 学	17.6	17.9	17.5	17.7	16.8
短 大	63.4	69.3	70.0	67.8	66.1

【アンケートの対象者】

各校3名：進路指導部または3年生担任の先生方(うち1名は進路指導部長)

【回答期限】

令和4年 月 日 ()

【回収方法】

県立高校：香川県教育委員会高校教育課まで逡送にてお送りください

市立・私立高校：同封の封筒にて郵送でお送りください

【参考】

「みんなでつくるせとうち田園都市・香川」実現計画（令和3年度～令和7年度）」

重点施策 18：「大学と地域との連携を深める」

県内大学等と地域との連携を深めることにより、県内での修学や就業の促進を図るための県内大学等の魅力づくりを進めます。これにより、若者の県内定着に努めます。

●現状と課題

- ・ 県内出身者の大学進学者のうち、8割以上が県外に進学するとともに、20歳代の人口割合は全国平均を大きく下回っています。県内出身者が県内大学に進学すれば、約8割の若者が県内就職している状況を踏まえて、若者の県外流出に歯止めをかける必要があります。
- ・ 私立専修学校等は県内出身者の割合が高く、また、県内企業に即戦力となる人材を多く輩出するなど人口定着や地域経済の活性化に貢献しています。大学や私立専修学校も含めたさまざまな高等教育機関の魅力を向上させるとともに、地域のニーズを踏まえた職業教育の質を高め、実践的な専門人材の育成・確保を図る必要があります。
- ・ 県内大学等が、これまで以上に地域貢献活動を行うなど、県内大学等の魅力を高め、将来的に学生数の増加につながるよう、県内大学等との連携を強化する必要があります。

●魅力ある大学づくり ※指標番号 105

指標	現状 (R2年度)	目標値 (R7年度)	指標の概要	目標値の設定根拠
自県大学 進学者の 割合	16.8%	21%	若者の県内定着を図るため、魅力ある大学づくりに向けた支援の成果を示す指標	関係機関と連携した総合的な取組みの推進により、国の創生総合戦略を上回る伸び率を目標として21%をめざす。

【アンケート】

1. 御校について、あてはまる項目を選択（記号を○で囲む）して、数値等を記入してください。

なお、回答内容は校内で統一してください。

(1) 設置者別

ア. 公立高校 イ. 私立高校

(2) 学科

ア. 普通科 イ. 総合学科 ウ. 専門学科（学科名： 科）

(3) 進路状況（令和3年3月卒業生、5月1日現在）

国公立大学（ %） 私立大学（ %）

国公立短期大学（ %） 私立短期大学（ %）

専修学校（ %） 就職（ %）

2. 近年、生徒が第一志望校を選択する際、何を重視する傾向にあるとお感じですか？ あてはまるものを重視度の高いものから6つ選択して（ ）に順位を入れてください。

ア. 学部・学科の特色や教育内容（ ）

イ. 施設・設備（ ）

ウ. 取得可能な資格（ ）

エ. 就職状況や就職先（ ）

- オ. 推薦・総合型選抜入試科目 ()
- カ. 一般選抜入試科目 ()
- キ. 偏差値 ()
- ク. 昨年度の入試状況 ()
- ケ. アドミッションポリシー ()
- コ. 奨学金など学生支援制度 ()
- サ. 学費など経済的な負担 ()
- シ. 大学等のある地域 ()
- ス. その他 ()

3. 近年、生徒の保護者が第一志望校を選択する際、何を重視する傾向にあるとお感じですか？

あてはまるものを重視度の高いものから6つ選択して () に順位を入れてください。

- ア. 学部・学科の特色や教育内容 ()
- イ. 施設・設備 ()
- ウ. 取得可能な資格 ()
- エ. 就職状況や就職先 ()
- オ. 推薦・総合型選抜入試科目 ()
- カ. 一般選抜入試科目 ()
- キ. 偏差値 ()
- ク. 昨年度の入試状況 ()
- ケ. アドミッションポリシー ()
- コ. 奨学金など学生支援制度 ()
- サ. 学費など経済的な負担 ()
- シ. 大学等のある地域 ()
- ス. その他 ()

4. 生徒に進学指導をする際、重視していることは何ですか？ あてはまるものを重視度の高いものから6つ選択して () に順位を入れてください。

- ア. 学部・学科の特色や教育内容 ()
- イ. 施設・設備 ()
- ウ. 取得可能な資格 ()
- エ. 就職状況や就職先 ()
- オ. 推薦・総合型選抜入試科目 ()
- カ. 一般選抜入試科目 ()
- キ. 偏差値 ()
- ク. 昨年度の入試状況 ()
- ケ. アドミッションポリシー ()
- コ. 奨学金など学生支援制度 ()
- サ. 学費など経済的な負担 ()
- シ. あなたの高校を卒業した生徒の修学状況 ()
- ス. オープンキャンパス等のイベント情報 ()
- セ. 国公立・有名私立大学への進学実績 ()
- ソ. 生徒の希望 ()

- タ. 保護者の希望 ()
- チ. その他 ()

5. 生徒に進学指導をする際、特に知りたい大学等の情報は何か? あてはまるものを重視度の高いものから6つ選択して()に順位を入れてください。

- ア. 学部・学科の特色や教育内容 ()
- イ. 施設・設備 ()
- ウ. 取得可能な資格 ()
- エ. 就職状況や就職先 ()
- オ. 推薦・総合型選抜入試科目 ()
- カ. 一般選抜入試科目 ()
- キ. 偏差値 ()
- ク. 昨年度の入試状況 ()
- ケ. アドミッションポリシー ()
- コ. 奨学金など学生支援制度 ()
- サ. 学費などの経済的な負担 ()
- シ. あなたの高校を卒業した生徒の修学状況 ()
- ス. オープンキャンパス等のイベント情報 ()
- セ. その他 ()

6. 香川県内の大学・短大等にどのような学部・学科が設置されているか知っていますか? あてはまるものを一つ選択してください。(記号を○で囲む)

- ア. すべて知っている
- イ. ほとんど知っている
- ウ. ある程度知っている
- エ. ほとんど知らない
- オ. 知らない

7. 香川県内の大学・短大等にどのような印象を持たれていますか? (1)から(4)の各設問について、あてはまるものを一つ選択してください。(記号を○で囲む)

(1) 生徒が希望する学部・学科について

- ア. 生徒が希望する学部・学科がすべて設置されている。
- イ. 生徒が希望する学部・学科がほとんど設置されている。
- ウ. 生徒が希望する学部・学科がある程度設置されている。
- エ. 生徒が希望する学部・学科がほとんど設置されていない。
- オ. その他 ()

(2) 生徒に進学を勧めたい学部・学科について

- ア. 生徒に進学を勧めたい学部・学科がすべて設置されている。
- イ. 生徒に進学を勧めたい学部・学科がほとんど設置されている。
- ウ. 生徒に進学を勧めたい学部・学科がある程度設置されている。
- エ. 生徒に進学を勧めたい学部・学科がほとんど設置されていない。
- オ. その他 ()

(3) 県内大学等の教育水準について(生徒の希望との関連について)

- ア. 生徒が希望する偏差値の大学等がある。
- イ. 生徒が希望する偏差値の大学等がほとんどある。
- ウ. 生徒が希望する偏差値の大学等がある程度ある。
- エ. 生徒が希望する偏差値の大学等がほとんどない。
- オ. 生徒が希望する偏差値の大学等がない。
- カ. その他 ()

(4) 県内大学等の教育水準について (進学指導をされる先生の立場から)

- ア. 生徒に進学を勧めたい偏差値の大学等がある。
- イ. 生徒に進学を勧めたい偏差値の大学等がほとんどある。
- ウ. 生徒に進学を勧めたい偏差値の大学等がある程度ある。
- エ. 生徒に進学を勧めたい偏差値の大学等がほとんどない。
- オ. 生徒に進学を勧めたい偏差値の大学等がない。
- カ. その他 ()

8. 香川県内出身者の大学進学者のうち、8割以上が県外に進学 (自県大学進学率が近年 17%台で推移) するとともに、20歳代の人口割合は全国平均を大きく下回っていることについて、あなたはどのように思いますか? あてはまるものを選択してください。(記号を○で囲む)

- ア. 香川県にとっては問題であり、改善すべきである。
- イ. 香川県にとっては問題であるが、仕方がない。
- ウ. 問題だとは思わない。

9. 香川県内高校からの自県大学進学率が近年 17%台で推移していることについて、どのような原因があると思いますか? (1)から(3)の各設問について、あてはまるものを全て選択してください。(記号を○で囲む)

(1) 生徒の考え

- ア. 県内に進学したい大学等がない (少ない) と考えている生徒が多い。
- イ. 県内に進学したい学部・学科がない (少ない) と考えている生徒が多い。
- ウ. 県外の国公立大学や有名 (難関) 私立大学等に進学したいと考えている生徒が多い。
- エ. 難易度等に関係なく、県外の大学等に進学したいと考えている生徒が多い。
- オ. 将来は県外の企業等に就職したいと考えている生徒が多い。
- カ. わからない
- キ. その他 ()

(2) 保護者の考え

- ア. 県内に進学させたい大学等がない (少ない) と考えている保護者が多い。
- イ. 県内に進学させたい学部・学科がない (少ない) と考えている保護者が多い。
- ウ. 県外の国公立大学や有名 (難関) 私立大学等に進学させたいと考えている保護者が多い。
- エ. 難易度等に関係なく、県外の大学等に進学させたいと考えている保護者が多い。
- オ. 将来は県外の企業等に就職させたいと考えている保護者が多い。
- カ. わからない
- キ. その他 ()

(3) あなたの考え

- ア. 県内に生徒を進学させたい大学等がない (少ない)。
- イ. 県内に生徒を進学させたい学部・学科がない (少ない)。

- ウ. 県外の国公立大学や有名（難関）私立大学等に進学させたい。
 - エ. 難易度等に関係なく、県外の大学等に進学させたい。
 - オ. 将来は県外の企業等に就職させたい。
 - カ. わからない
 - キ. 高校の方針である。
 - ク. 生徒や保護者が県外進学を希望する。
 - ケ. その他（）
- (4) 上記9(3)の質問において、「ウ」または「エ」を選択された方は、選択した理由をお書きください。

10. 大学コンソーシアム香川の取組について、ご意見やご要望がございましたらお書きください。

アンケートは以上です。

個人情報の保護に基づき、本アンケートは厳重に保管し、頂きました情報をもとに大学コンソーシアム香川の取組の充実に向けて努めてまいります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和 3 年度ニーズ調査について

資料 5-2 令和 3 年度ニーズ調査報告

令和 4 年 1 月 25 日 契約締結

2 月 10 日 委託業者から関係者へのニーズ調査依頼及びアクセス
情報の発送

3 月 7 日 ニーズ調査回答期限

3 月 15 日 委託業者から集計結果の納品・検査

3 月 25 日 委託業者への支払・大学等への返金

資料 5-3 令和 4 年 3 月 15 日 ニーズ調査成果報告書

資料 5-4 事務連絡 令和 3 年度補正予算に係る会費の差額返金について

- ・令和 3 年度ニーズ調査に係る経費については、令和 4 年 1 月 7 日付けでご承認いただいた令和 3 年度補正予算に基づき、構成員の皆様へ会費をお支払いいただいたところであるが、補正予算額とニーズ調査委託契約額に差額が生じたため、その差額の返金を行うこととする。
- ・返金額は大学等が 117,439 円、県が 2,466,227 円。
- ・ニーズ調査に係る精算後の大学コンソーシアム香川の口座残高 331,730 円（振込手数料 550 円を除く。）については、3 月 28 日に開催予定のプラットフォーム設立総会実施経費の負担金として香川大学に支払うこととする。

事 務 連 絡
令和 4 年 1 月 2 4 日

大学コンソーシアム香川
関 係 各 位

大学コンソーシアム香川
事務局長 橋本 一仁

大学コンソーシアム香川地域における大学等に関する
ニーズ調査業務に係る見積り合わせの結果報告等について

日頃より、大学コンソーシアム香川の事業にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

地域における大学等に関するニーズ調査業務に係る見積り合わせについて、下記の結果となりましたのでお知らせします。

委託業者との契約締結後、令和 4 年 2 月 10 日を目途に、大学生をはじめ、企業、高校生とその保護者、市町へのニーズ調査依頼及びニーズ調査に係る WEB アクセス情報 (URL) の発送を行います。

大学生のニーズ調査につきましては、委託業者から貴学・貴校に WEB アクセス情報 (URL) の発送を電子メールで行う予定ですので、貴学・貴校における学生へのご周知と学生からの回答率向上へのご協力をお願いします。

なお、ニーズ調査業務に係る精算額が確定し次第、令和 3 年度補正予算額との差額の返金等について協議させていただきます。

記

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1 委託業務名 | 大学コンソーシアム香川地域における大学等に関するニーズ調査業務 |
| 2 委託先 | (株)東京商工リサーチ高松支社 |
| 3 委託金額 | 2,031,700 円 (税込) |
| 4 支払方法 | 完了払 |
| 5 予算額 | 5,320 千円 |

6 見積り合わせの結果

結果	会社名	見積額(税込)
採用	(株)東京商工リサーチ高松支社	2,031,700 円
不採用	(株)日経リサーチ大阪支社	3,170,200 円
不採用	(株)サーベイリサーチセンター四国事務所	3,256,000 円
辞退	(株)帝国データバンク高松支店	—

7 契約予定日

令和4年1月25日

8 納期限(予定)

令和4年3月15日

【問合せ先】

大学コンソーシアム香川
(香川県政策部地域活力推進課内)
久保 TEL 087-832-3105

大学コンソーシアム香川地域における大学等に関するニーズ調査 成果報告書

令和4年3月15日

株式会社東京商工リサーチ 高松支社
高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル6階）
支社長 有馬 知樹

令和4年3月15日に下記を業務を完了しましたので、ご報告致します。

- 1 委託業務の名称 大学コンソーシアム香川地域における大学等に関するニーズ調査業務

業務内容	
①調査用Webサイトの作成・管理業務	
②調査依頼データ・文書の発送業務	QRコード、URLの配布
1, 企業	2月11日 指定アドレスへのメールでの依頼
2, 高校生、3, 高校生保護者	2月10日 県内43高校に宅配による送付
4, 市町	2月11日 指定アドレスへのメールでの依頼
5, 大学生・短大生・高専生	2月11日 指定アドレスへのメールでの依頼
③景品の発送業務	回答者100名へのQUOカード発送
④調査結果の集計業務	単純集計、クロス集計

- 2 業務委託料 金2,031,700円（うち消費税額及び地方消費税額184,700円）

- 3 履行期限 令和4年3月15日

- 4 成果品 データ（アンケートローデータ、単純集計、クロス集計）CD-ROM納品

大学コンソーシアム香川
各 構 成 員 様

大学コンソーシアム香川
事務局長 橋本 一仁
(公印省略)

大学コンソーシアム香川 令和3年度補正予算に係る会費の差額返金について

標記について、別紙のとおり令和4年3月10日に開催した第2回運営委員会で令和3年度補正予算に係る会費の差額返金を行うこととなりましたので、令和4年3月22日（火）までに事務局に請求書等をご送付いただけるようお願いいたします。

なお、各構成員の皆様への返金は、令和4年3月25日（金）に口座振込により行う予定です。

【提出・お問い合わせ先】
大学コンソーシアム香川 事務局 目黒
(四国学院大学内)
TEL/FAX 0877-62-2208
E-mail liaison@sg-u.ac.jp

別紙

令和3年度大学コンソーシアム香川
第2回運営委員会（令和4年3月10日）資料

大学コンソーシアム香川 令和3年度補正予算に係る会費の差額返金について

令和3年度ニーズ調査に係る経費については、令和4年1月7日付けで承認されました令和3年度補正予算に基づき、構成員の皆様にご会費をお支払いいただいたところですが、補正予算額とニーズ調査委託契約額に差額が生じたため、その差額の返金を下記のとおり行います。

	ニーズ調査に係る 令和3年度 補正予算額① (構成員既支払額)	ニーズ調査 委託契約額 ② (構成員実負担額)	差額 (①-②) (返金額)
香川県	3,990,000	1,523,773	2,466,227
香川県立保健医療大学	-	-	-
香川高等専門学校	190,000	72,561	117,439
香川大学	190,000	72,561	117,439
香川短期大学	190,000	72,561	117,439
四国学院大学	190,000	72,561	117,439
せとうち観光専門職短期大学	190,000	72,561	117,439
高松大学・高松短期大学	190,000	72,561	117,439
徳島文理大学	190,000	72,561	117,439
合計	5,320,000	2,031,700	3,288,300

(参考様式) 貴学・貴校の任意の様式でご請求いただいて構いません。

請求書

請求金額		十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
					¥	1	1	7	4	3	9

ただし、

内 訳 大学コンソーシアム香川
令和3年度補正予算に係る会費の差額返金として

上記の金額を請求します。

令和4年 3月15日

大学コンソーシアム香川
会長 末吉 高明 殿

債権者 76×-××××
××市××町
〇〇大学 学長 〇〇 〇〇

支払の方法	口座振替 ■	〇〇 銀行 〇〇 (支)店		現金払 <input type="checkbox"/>	隔地払 県外送金 <input type="checkbox"/>	小切手払 <input type="checkbox"/>	
		預金種目	当座 <input type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/>				口座番号
		フリガナ 口座名義	マルマルタ、イカ、ク 〇〇大学				

大学・地域共創プラットフォーム香川の設立について

大学コンソーシアム香川と「学生の香川県内定着プロジェクト」（通称「COC+-NEXT かがわ」。主幹校：香川大学）を統合して新組織とし、新たに地域や産業界が加わった産学官連携の枠組みを構築する。

大学コンソーシアム香川と COC+-NEXT かがわで取り組んでいる事業は、プラットフォームにおいては、6～7 月に予定しているプラットフォームの総会にて新規事業と併せて審議されることとなるが、当面の間は継続実施に向け、予算執行を伴わない準備行為を行うこととする。

資料 6-1-2 「大学・地域共創プラットフォーム香川の構築について」

1 プラットフォーム設置の目的

- ・地域の維持・活性化のため、地域に求められる人材の育成・定着に取り組む必要がある。
- ・大学等と県だけでなく、産業界や市町等を交えて、地域社会・地域経済を支える人材育成に取り組む。
- ・地域人材が活躍する場を確保し、人材の定着を図るため、地域社会・地域産業の活性化に向け連携して地域課題への対応・解決に取り組む。

2 実施体制

- ・会長は香川大学長をもって充てる。事務局は香川大学に設置する。
- ・令和 4 年度から 2 年間のプラットフォーム役員について、副会長を四国学院大学長、監事を香川県商工会議所連合会会長及び高松市大西市長でプラットフォーム設立総会に提案する予定。
- ・「進学・教育」「就職・産業振興」「地域活性化」のテーマごとに、3つの部会を設置し、部会には取組みの企画や進行管理等を行う幹事を置く。幹事は大学又は県が担う。
- ・事務局機能を強化するため、関係者とのコーディネート等を行う専任の職員を香川大学に配置する。
- ・事務局の専任の職員の人件費や部会運営費等はプラットフォームの事務費で負担する。
- ・県は全ての部会の幹事又は副幹事となり、進行管理に関わるとともに、事務局との十分な連携で情報共有を図る役割を担い、新体制の安定的な運営を図る。
- ・大学コンソーシアム香川の高等教育機関連携推進委員会は、コンソーシアムにおける協議体制の運営支援及び中長期計画の策定・実施を推進するため、企画立案、連絡調

整、進捗管理などを行っているが、プラットフォームにおいてはその機能を事務局に置き、私立大学等改革総合支援事業等に関しては、事務局、私立大学等及び県が連携して情報共有を図りながら取り組むこととする。

3 令和4年度の進め方

- ・現在大学コンソーシアム香川とCOC+NEXTかがわで取り組んでいる事業について、プラットフォームにおいては、6~7月に予定しているプラットフォームの総会にて新規事業と併せて審議されることとなるが、当面の間は継続実施に向け、予算執行を伴わない準備行為を行うこととする。
- ・継続事業は当面の間、現在担当する大学等が引き続き事業実施を担当する。担当大学は事業内容について部会の幹事に情報提供する。
- ・大学等の広報費は大学等で負担。COC+NEXTかがわの継続事業は全てゼロ予算事業であるためCOC+NEXTかがわに係る大学等の負担はない。
- ・継続事業と並行して新組織設立後、各部会で関係者との協議のうえ、令和4年度及び令和5年度からの取組みを取りまとめる。

資料6-1-3 新たな産学官連携の枠組みの構築について

1 負担について

- ・令和4年度負担金として、大学等においては、事務費15万円、広報費30万円、合計45万円をお支払いいただきたい。また、新組織での協議の中で個別事業に要する経費を追加負担いただく可能性がある。
- ・会費規則（案）に負担額を記載。

2 プラットフォーム参画団体

参画を依頼した産業界の8団体及び県内17市町は全てプラットフォームに参画いただくこととなった。

【大学、短大、高専】

県内5大学、3短期大学、1高等専門学校

【産業界】

香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県中小企業団体中央会、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会、香川県農業協同組合中央会、香川県漁業協同組合連合会、香川県銀行協会

【自治体】

県、市町

資料 6-2、6-2-2、6-2-3、6-3、6-4 規約、部会設置規程、会費規則(案)

- ・大学等のご意見を反映した今回の資料を、プラットフォーム設立総会議案とする。
- ・施行日は令和4年3月28日とし、プラットフォームの最初の事業期間は令和4年4月1日からとする。

資料 6-5 大学・地域共創プラットフォーム香川で事業継続協議を諮る令和4年度計画書

資料 6-6 プラットフォーム設立等に係るスケジュール(予定)

(令和3年度)

- 3月10日 大学コンソーシアム香川運営委員会
- 3月下旬 大学コンソーシアム香川総会(書面審議の予定)
- 3月28日 プラットフォーム設立総会

(令和4年度)

- 5月下旬 第1回部会開催
- 6月中旬 第2回部会開催
- 6月下旬 運営委員会開催
- 6~7月 総会開催(部会での協議を踏まえた令和4年度事業決定)

資料 6-7 プラットフォームでの協議から取組み実施までの流れ

- ・各構成員は事務局との連絡窓口を設置し組織内の円滑な周知方法の確立を行っていただきたい。
- ・プラットフォームでの役割について、構成員ごとに記載している。

資料 6-8 市町・経済団体訪問時説明資料

大学・地域共創プラットフォーム香川の構築について

★設置の目的

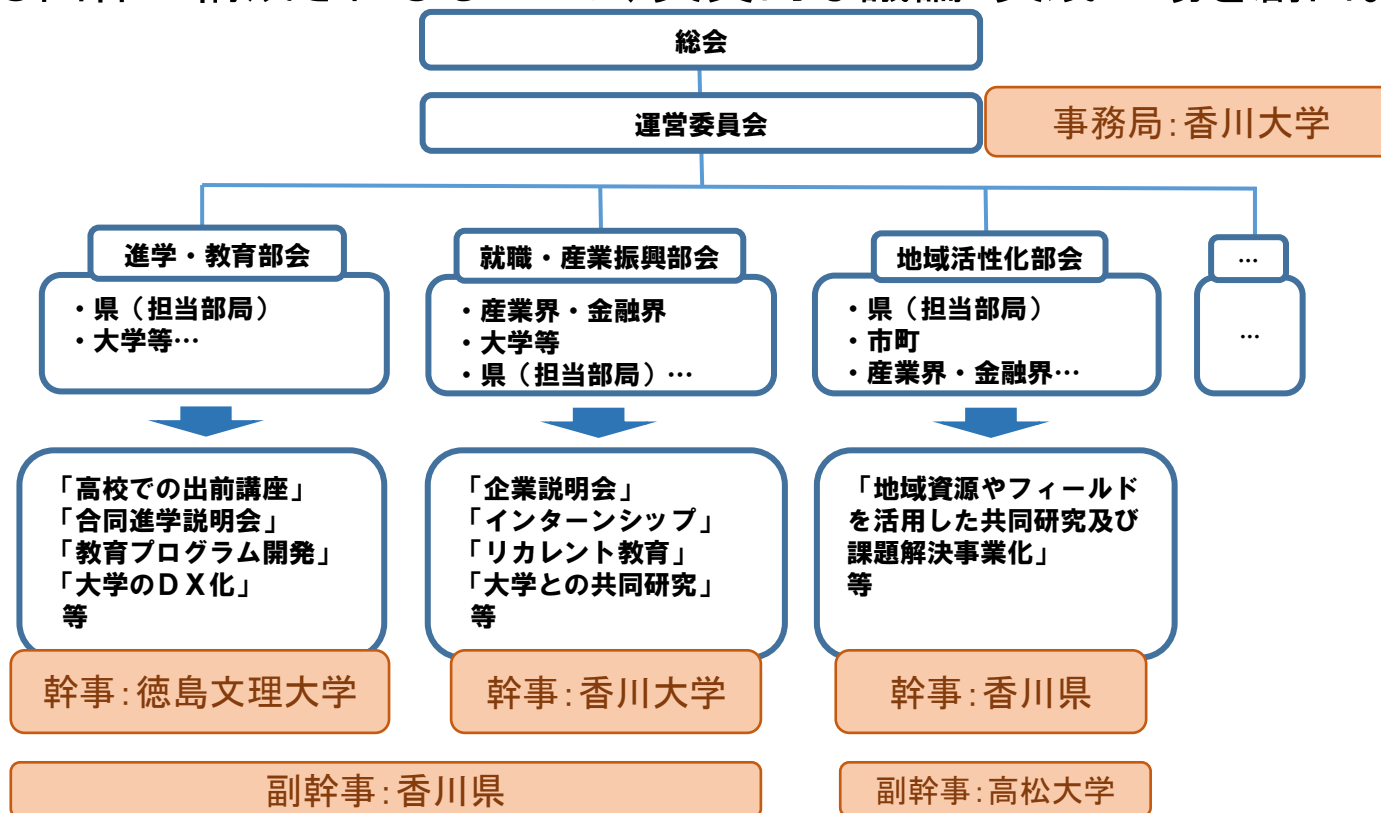
- 地域を支えるのは人(人材)であり、地域の維持・活性化のためには、地域に求められる人材の育成・定着に取り組む必要がある。
- 大学等と県だけではなく、産業界や市町等を交えて、求められる地域人材について議論するとともに、議論を踏まえた地域社会・地域経済を支える地域人材の育成に取り組む。
- 地域人材が活躍する場を確保し、人材の定着を図るため、地域社会・地域産業の活性化に向け、大学等・産業界・市町の強みを持ち寄り、連携して地域課題への対応・解決に取り組む。

★構成員が持ち寄る「強み」

- (大学等)人材育成のための教育、課題対応のための専門的知見の提供
- (産業界等)産業人材が有する実践的なノウハウ、人材育成のためのフィールドの提供
- (市町)直面する地域課題の現場認識、課題解決ノウハウの提供

★実施体制(P2に続く)

- ・進学・教育、就職・産業振興や地域活性化等のテーマごとに部会を設置。
- ・部会は、参加を希望する団体で構成されるものとし、実質的な議論・実践の場を創出。



大学・地域共創プラットフォーム香川の構築について

【総会メンバー】

(大学等)学長、校長
(産業界等)団体の会長
(市町)首長

【運営委員会メンバー】

(大学等)地域連携統括者
(産業界等)事務局長
(市町)地域連携担当課長

【部会メンバー】

設置当初は運営委員会メンバーを想定しているが、具体的なテーマが決まれば担当部署からの参加。

【会長】

香川大学長(持ち回りとせず固定)

【事務局】

香川大学が専任の職員を配置。(プラットフォームの事務費で人件費を負担)

(事務局の役割)

- ・総会・運営委員会の開催、開催に伴う資料作成等
- ・会費の徴収、管理、決算等
- ・各部会の進行管理
- ・各部会の協議内容・参加者等を全構成員に情報発信(人材・情報の共有)

※サポート役として県が香川大学と連携して進行管理する。

【部会】

(部会の幹事)

- ・進学・教育部会 - 徳島文理大学
- ・就職・産業振興部会 - 香川大学
- ・地域活性化部会 - 香川県

※県は部会の幹事又は副幹事として参画し、幹事又は副幹事を担う大学と連携して部会運営する。

(部会幹事の役割)

- ・部会の開催、開催に伴う資料作成等
- ・部会で協議するテーマの調整(ニーズ調査結果を参考とした提案)、各テーマへの参加者や講師のコーディネート(参加依頼やマッチング等)

※部会参加主体で運営費を負担

大学・地域共創プラットフォーム香川の構築について

★令和4年度の進め方

- ・COC+と大学コンソーシアム香川で取り組んでいる事業はプラットフォームでの実施に向け当面予算執行を伴わない準備行為を実施。(プラットフォームで実施する場合、大学等の広報費は大学等で負担)。
- ・新組織設立後、各部会で関係者の協議のうえ、令和4年度内に令和5年度からの取組みを取りまとめる。
- ・事務局から令和4年度の新たな取組みの具体案を示し、承認されれば令和4年度に実施する。

(令和4年度取組みの方向性(例))

<進学・教育部会>

- ・高等学校校長の県内大学訪問ツアー及び意見交換会
- ・進路指導主事会での県内大学の取組み紹介
- ・高校の総合的な探究の時間の企画等における連携

<就職・産業振興部会>

- ・企業経営者を対象としたDX人材育成講座等

<地域活性化部会>

- ・大学と自治体が連携したまちづくりに係るフィールドワーク

新たな産学官連携の枠組みの構築について

【現状と連携の必要性】

- 今まで、県と大学等の連携のもと地域の人材育成・人材定着などに取り組んできたが、人口減少の進行など地域を取り巻く状況はより一層複雑化しており、根本的な対応策を見出すことは困難になっている。
- 今の延長線上に未来はない状況において、地域が存続するためには、課題に向き合う人材、対応する知見そして何よりも産業界、大学、行政の垣根を超えた連携によるチャレンジが不可欠である。そこで、産官学の垣根を超えた連携により人材・知見を持ち寄り、地域の課題に挑戦するとともに、次世代の地域を担う人材育成のための新たな枠組みを構築する。

【各界の役割と方向性】

(大学等)質の高い教育機会の確保による人材育成。研究の社会実装化の可能性増。共同研究の推進等。

- 結果として、大学入学者の増や優秀な学生の獲得。

(産業界等)求める人材の確保。

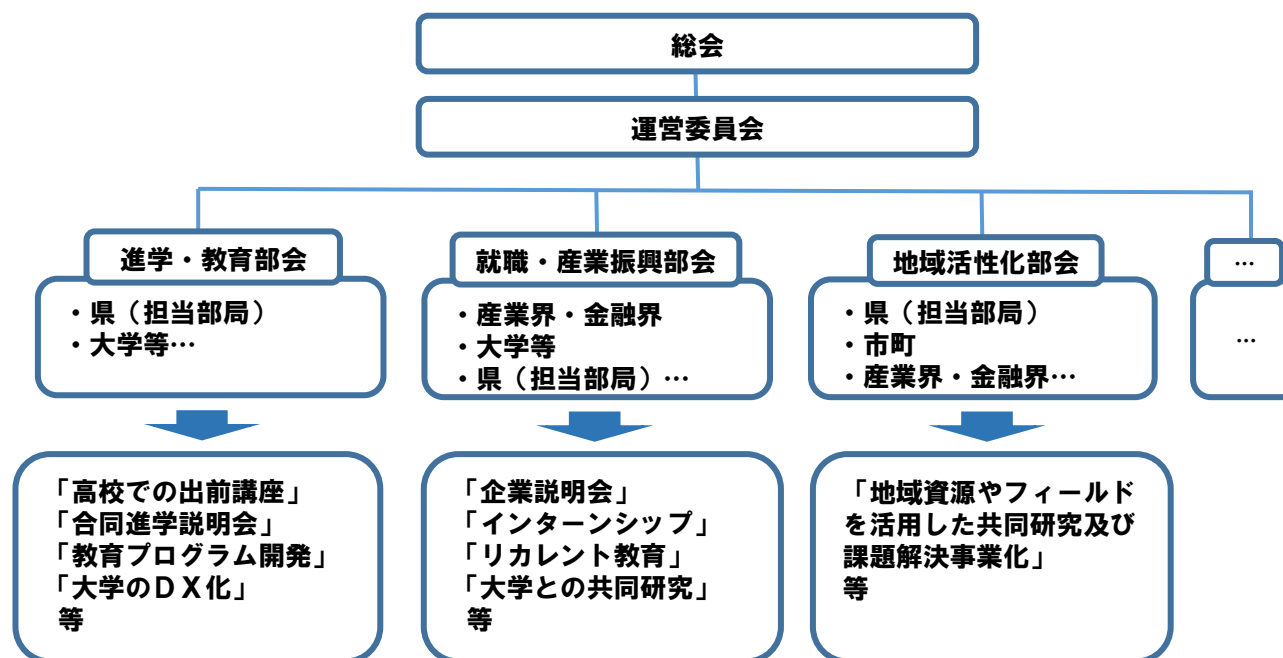
- 結果として、優れた人材の定着。共同研究等による地域産業の振興等。

(地域社会)地域課題の解決。地域活性化。

- 結果として、地域の大学等の魅力向上と活性化の実現による、若者の流出防止、地域社会の維持、人材の確保等。

【実施体制について】

- ・産学官の関係団体等が集まり、プラットフォームを構築。
- ・産業振興や地域活性化、進学・教育等のテーマごとに部会を設置。
- ・部会は、参加を希望する団体で構成されるものとし、実質的な議論・実践の場を創出。
- ・部会に幹事(大学等を想定)を設け、サポート役として県が副幹事で参画し、部会を運営。
- ・それぞれの目的と役割を共有し、連携事業を企画・協働で実施。



新たな産学官連携の枠組みの構築について

【負担について】

- ・部会を運営等するための経費について関係者で負担。
- ・部会で企画・実行される各事業については、関係者が関与の程度を判断。
※県において、各事業の運営に係る経費(関係者の調整など)の一部を負担。

(単位: 千円)

事務費・広報費	750万円
(負担額)	
県	300万円
大学等	45万円
経済団体	10万円
市町	5万円

経費項目	負担額	負担内訳		構成員別	
		県	構成員計	大学等	経済団体・市町
事務費	4,800	2,400	2,400	@150	@100・@50
人件費(コーディネーター等)	4,000	2,000	2,000	計1,050	計1,350
部会運営費	800	400	400		
広報費	2,700	600	2,100	@300	-
キャンパスガイド等	2,700	600	2,100	計2,100	
事業費					
個別事業に要する経費		個別事業の参加者で負担額を協議			
計	7,500	3,000	4,500	3,150	1,350

【想定する構成員】

【産業界】

香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県中小企業団体中央会、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会、香川県農業協同組合中央会、香川県漁業協同組合連合会、香川県銀行協会

【大学、短大、高専】

香川大学、香川県立保健医療大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、高松短期大学、香川短期大学、せとうち観光専門職短期大学、香川高等専門学校

【自治体】

県、市町

(案)

大学・地域共創プラットフォーム香川（仮称）規約

(名称)

第1条 本会は、大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「プラットフォーム」という。）と称する。

(目的)

第2条 プラットフォームは、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「県内大学等」という。）を基点に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界、行政等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 プラットフォームは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に関する事業
- (2) 地域社会・地域経済活性化のための地域課題への対応・解決に関する事業
- (3) 地域の産業振興に関する事業
- (4) 県内大学等の教育の向上及び研究の促進に関する事業
- (5) 県内大学等の情報の提供・広報に関する事業
- (6) その他プラットフォームの目的を達成するために必要な事業

(組織)

第4条 プラットフォームは、別表の左欄に掲げるもの（以下「構成員」という。）をもって組織する。

(入退会)

第5条 プラットフォームに入会しようとするものは、書面により会長に申し出るものとし、第11条に定める総会の議決を経て、入会することができる。

- 2 構成員が、プラットフォームを退会しようとする場合には、原則として退会する3か月前までに、書面により会長に申し出た上で、第11条に定める総会の議決を得なければならない。

(機関)

第6条 プラットフォームは、第3条の事業を行うために、総会、運営委員会、部会及び事務局を設置する。

(役員)

第7条 プラットフォームに次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

(選任等)

第8条 プラットフォームに会長を置き、会長は、香川大学長をもって充てる。

2 前条の副会長及び監事は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者のうちから、総会において互選により選任する。

3 副会長及び監事の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 補欠の副会長及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。

5 副会長及び監事は、前2項の規定にかかわらず、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。

6 会長、副会長及び監事（以下「役員」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の3分の2以上の議決により、解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員にふさわしくない行為があると認められるとき。

(職務)

第9条 会長は、プラットフォームを代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 監事は、会計を監査する。

(報酬)

第10条 役員は、無報酬とする。

(総会)

第11条 総会は、別表の左欄に掲げる構成員において、同表の右欄に掲げる役職にある者（以下「委員」という。）により構成する。

2 総会は、次の各号に掲げる事項を審議・決定する。

- (1) プラットフォームの運営に関する重要事項
- (2) 事業計画に関すること

(3) 予算及び決算に関する事項

(4) 副会長及び監事の選出に関する事

(5) その他重要事項

3 総会は、会長が招集し、その議長となる。

4 総会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。

5 総会の議事は、出席した委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

6 やむを得ず総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は代理人をもって表決権を行使することができる。これにより表決権を行使した委員は、第4項の規定については出席したものとみなす。

7 総会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(運営委員会)

第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。

(1) 中長期計画の企画・立案に関する事

(2) 事業計画の企画・立案に関する事

(3) 予算の企画・立案に関する事

(4) 部会の設置・廃止の検討に関する事

(5) プラットフォームの会費の検討に関する事

(6) その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関する事

2 運営委員会は、委員が指名する者及び事務局長(以下「運営委員会委員」という。)により構成することとし、委員は、1名の運営委員会委員を指名するものとする。ただし、特別の事情がある場合には、この限りではない。

3 運営委員会は、委員会において審議・決定した事項を総会に報告しなければならない。

4 運営委員会は、事業実施を円滑に推進するため、必要に応じ、別途、部会及びその他の組織を設けることができる。

5 前条第3項から第7項について、「総会」を「運営委員会」、「委員」を「運営委員会委員」、「会長」を「事務局長」と読み替えて準用する。

6 運営委員会は、必要に応じ、書面により運営委員会委員の意見を聞くことができる。書面による運営委員会委員への意見聴取の結果は、前項により準用する前条第5項に定める運営委員会における議決と同等の効力を有する。

(部会)

第13条 プラットフォームは、事業運営のため部会を置く。

2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第14条 プラットフォームに関する事務を処理するため、香川大学に事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長を置く。

3 事務局長は、会長が指名する者をもって充てる。

4 事務局は、総会及び運営委員会の事務を処理する。

(会計)

第15条 プラットフォームの会計は、構成員の会費、負担金、寄付金、補助金及びその他の収入をもって充てることとし、会費に関し必要な事項は、別に定める。

2 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(規約の変更)

第16条 この規約は、総会の議事を経なければ変更することはできない。ただし、その変更が、軽微な場合には、運営委員会において、規約の変更を行うことができる。

2 前項ただし書きにより、規約の変更を行った場合には、運営委員会は、総会においてその内容を報告しなければならない。

別表（第4条関係）（順不同）

○県内大学等

名称	役職
香川大学	学長
香川県立保健医療大学	学長
四国学院大学	学長
徳島文理大学	学長
高松大学	学長
香川短期大学	学長
高松短期大学	学長
せとうち観光専門職短期大学	学長
香川高等専門学校	校長

○経済団体等

名称	役職
----	----

香川県商工会議所連合会	会長
香川県商工会連合会	会長
香川県中小企業団体中央会	会長
香川経済同友会	代表幹事
香川県中小企業家同友会	代表理事
香川県農業協同組合中央会	代表理事会長
香川県漁業協同組合連合会	代表理事会長
香川県銀行協会	会長

○行政機関

名称	役職
高松市	市長
丸亀市	市長
坂出市	市長
善通寺市	市長
観音寺市	市長
さぬき市	市長
東かがわ市	市長
三豊市	市長
土庄町	町長
小豆島町	町長
三木町	町長
直島町	町長
宇多津町	町長
綾川町	町長
琴平町	町長
多度津町	町長
まんのう町	町長
香川県	知事

附則

- 1 この規約は、令和4年3月28日から施行する。
- 2 この規約の施行後、最初に任命される第7条に定める副会長及び監事の任期は、第8条第3項の規定にかかわらず、令和6年3月31日までとする。
- 3 プラットフォームの最初の事業年度は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。

大学・地域共創プラットフォーム香川(仮称)規約(案)について既存の大学連携の規約との比較表(令和4年3月10日)

		大学・地域共創プラットフォーム香川(仮称)		大学コンソーシアム香川	学生の香川県内定着プロジェクト推進協議会 (COC+-NEXTかがわ)
		規約(案)	規約(案)の説明	規約	規約
1	目的	プラットフォームは、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「県内大学等」という。)を基点に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界、行政等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	「人材育成」「人材定着」「地域活性化のための地域課題への対応・解決」を目的とした取組みを実施する。	コンソーシアムは、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「県内大学等」という。)が相互に連携・交流し、香川県内の教育の質的向上を推進するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	学生の香川県内定着プロジェクト推進協議会(以下「協議会」という。)は、香川県内の高等教育機関、自治体、企業及び経済団体等が協働・連携し、学生の香川県内定着を推進するための事業方針及び事業内容の策定・実施を図ることを目的とする
2	事業	(1)地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に関する事業 (2)地域社会・地域経済活性化のための地域課題への対応・解決に関する事業 (3)地域の産業振興に関する事業 (4)県内大学等の教育の向上及び研究の促進に関する事業 (5)県内大学等の情報の提供・広報に関する事業 (6)その他プラットフォームの目的を達成するために必要な事業		(1)県内大学等の情報の提供・広報に関する事業 (2)県内大学等相互及び地域との交流・連携を促進・支援する事業 (3)その他コンソーシアムの目的を達成するために必要な事業	(業務) 一 学生の香川県内定着プロジェクトの事業方針及び事業内容に関すること 二 相互の連携に関すること 三 その他前条の目的を達成するための必要な事項
3	構成員	【産業界】 香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県中小企業団体中央会、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会、香川県農業協同組合中央会、香川県漁業協同組合連合会、香川県銀行協会 【大学・短大・高専】 香川大学、香川県立保健医療大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、高松短期大学、香川短期大学、せとうち観光専門職短期大学、香川高等専門学校 【行政機関】 県、市町	産業界、市町が構成員として参画いただくよう現在参画依頼を行っており、3月上旬に令和4年4月からの構成員が判明する予定。四国職業能力開発大学校の参画については協議を継続する。	【大学・短大・高専】 香川大学、香川県立保健医療大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、高松短期大学、香川短期大学、せとうち観光専門職短期大学、香川高等専門学校 【行政機関】 県	【産業界】 高松商工会議所、香川経済同友会 【大学・短大・高専】 香川大学、香川県立保健医療大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、高松短期大学、香川短期大学、せとうち観光専門職短期大学、香川高等専門学校 【行政機関】 県
4	会長	香川大学長	県内大学等においてご了解をいただければ香川大学長とする。	県内大学等の長のうちから、互選により選任	香川大学長
5	役員	会長1名、副会長1名、監事2名(県内大学等の長)	役員は県内大学の長で担う。	会長1名、副会長1名、監事2名(県内大学等の長)	会長1名
6	事務局	香川大学に事務局を設置する。	会長が香川大学長で、事務局が香川大学。	会長が在籍する構成員に事務局を設置する。	香川大学地域創生推進部地域連携推進グループ
7	総会出席者	構成員の長(代理出席可)	産業界、市町が総会の構成員となる。	県内大学等の長及び知事が指名する者(代理出席可)	香川大学学長、県内大学等の理事・副学長等、県政策部長、産業界の専務理事人材育成委員会委員長
8	総会議決	出席者の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。	既存の規約と同じ。	出席者の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。	出席者の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。

1. ご意見

番号	資料番号	箇所	内容	修正理由	対応及び考え方
1	資料2	第2条	「連携を基点として、県内大学等と地域との連携を深める観点から」の表現の修正	表現をより分かりやすくするため。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 「香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「県内大学等」という。)を基点に、地域の各主体の知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から」
2	資料2	第3条	第4号について、「研究の促進及び県内教育の質的向上」を「教育の向上及び研究の促進」に修正。	通常大学等の役割として「教育研究」と言われることが多く、また「県内」の表記が続いているため。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 「教育の向上及び研究の促進」
3	資料2	第8条	第2項について 副会長及び監事(以下「役員」という。)の(以下「役員」という。)を削	役員は会長も含めるため。	ご意見を踏まえ修正します。
4	資料2	第12条	第5項について、「第11条第3項から第7項」を「前条第3項から第7項」に修正。同様に第6項について、「第11条第5項に定める」から「前条第5項に定める」に修正。	前の条文を引用するため前条との記載にする。	ご意見を踏まえ修正します。
5	資料2	別表	「県内大学等」及び「経済団体等」の並びは、五十音順だとわかりづらい。	四年制大学→短大→高等専門学校、企業参加の団体→個人参加の団体→業界別の団体 のような並びにした方が良いのではないかと。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 (県内大学等) 四年制大学(国公私)、短期大学、高等専門学校の修学年で区分し私立は原則開学が古い大学から記載する。 (経済団体等) 企業参加の団体、個人参加の団体、業界団体等で区分し、区分の中では原則構成員が多い団体から記載する。
6	資料2	別表	「県内大学等」の「徳島文理大学」については、「徳島文理大学(香川キャンパス)」の表記となるのではないかと。	事業の対象が香川キャンパスであるなら香川キャンパスの表記をした方がよいのではないかと。	大学としてプラットフォームに参画し、総会委員は大学長となるため、構成員としては徳島文理大学のまま修正なしとします。なお、事業については香川キャンパスの学生等を対象としていることを徳島文理大学に確認しました。
7	資料2	別表	香川県中小企業家同友会の総会出席者は「会長」を「代表理事」に修正。	会長は常設の役職ではないため。常設の代表者である代表理事に修正する。	ご意見を踏まえ修正します。
8	資料2	附則	「令和4年3月28日から施行」だと年度をまたぐため、「令和4年4月1日から施行」の方が良いのではないかと。		3月28日の設立総会で規約に基づく役員を選任等を予定しておりますので、規約の施行日は3月28日とします。なおプラットフォームの最初の事業年度を令和4年4月1日からとするため次のとおり修正します。 附則 1 この規約は、令和4年3月28日から施行する。 2 プラットフォームの最初の事業年度は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。
9	資料3	第1条	「第13条の規定に基づき」を「第13条第2項の規定に基づき」に修正。	引用する条文の誤り。	ご意見を踏まえ修正します。
10	資料3	第2条	(1)進学・教育部会ハについて、「県内教育の質的向上に関する」を「教育の向上に関する」に修正。	「県内」の表記が続いているため。	ご意見を踏まえ修正します。
11	資料3	第2条	(2)就職・産業振興部会ハについて、「PBL(課題解決型教育プログラム)」を「PBL(課題解決型学習)」に修正。	表現の修正。	ご意見を踏まえ修正します。
12	資料3	第2条	(3)地域活性化部会の所掌事項が広範で抽象的である。	地域活性化部会の所掌事項が抽象的であったため、県内大学等と連携した取組みを記載し、より具体的に表現する方がよい。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 (3)地域活性化部会 イ 県内大学等と連携した地域社会を支える人材の育成及び人材の定着に関する事項 ロ 県内大学等と連携した地域づくりに関する事項 ハ その他地域の連携促進に関する事項

番号	資料番号	箇所	内容	修正理由	対応及び考え方
13	資料3	第3条	第3項、第4項、第5項について、幹事だけでなく副幹事も対象とする記載とする。	副幹事に香川県以外が就任される可能性があるため、第3項(選任方法)第4項(任期)、第5項(後任者就任までの職務)について、副幹事も対象とする。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 3 幹事及び副幹事は、別表1に掲げる部会員のうちから、会長が推薦し、部会において互選により選任する。 4 幹事及び副幹事の任期は2年とし、再任を妨げない。 5 幹事及び副幹事は、前項の規定にかかわらず、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。
14	資料3	第4条	第3項について、「実施することを妨げない」を「実施することができるものとする」に修正。	表現の修正。	ご意見を踏まえ修正します。
15	資料3	第5条	第2項について、「構成員の中から」を「部会員の中から」に修正。	部会員からメンバーを選任するため。	ご意見を踏まえ修正します。
16	資料3	別表1	「部会員」を「構成員」に修正。	表現の修正。	ご意見を踏まえ修正します。
17	資料3	別表1	「県内大学等」及び「経済団体等」の並びは、五十音順だとわかりづらい。	四年制大学→短大→高等専門学校、企業参加の団体→個人参加の団体→業界別の団体のような並びにした方が良いのではないかと。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 (県内大学等) 四年制大学(国公私)、短期大学、高等専門学校の修学年で区分し私立は原則開学が古い大学から記載する。 (経済団体等) 企業参加の団体、個人参加の団体、業界団体等で区分し、区分の中では原則構成員が多い団体から記載する。
18	資料3	別表2	副幹事を記載することとする。	副幹事に香川県以外が就任される可能性があるため、幹事だけでなく副幹事を記載することとする。	ご意見を踏まえ修正します。
19	資料3	附則	「令和4年3月28日から施行」だと年度をまたぐため、「令和4年4月1日から施行」の方が良いのではないかと。		3月28日の設立総会で各部会の幹事、副幹事及び部会員を記載した部会設置規程の議決を予定しておりますので、規程の施行日は3月28日とし、修正なしとします。
20	資料4	第1項	「第15条第1項に基づき」を「第15条第1項の規定に基づき」に修正。	引用する条文の誤り。	ご意見を踏まえ修正します。
21	資料4	附則	「令和4年3月28日から施行」だと年度をまたぐため、「令和4年4月1日から施行」の方が良いのではないかと。		3月28日の設立総会で各構成員の会費を記載した会費に関する規則の議決を予定しておりますので、規則の施行日は3月28日とします。なおプラットフォームの最初の事業年度を令和4年4月1日からとするため次のとおり修正します。 附則 1 この規則は、令和4年3月28日から施行する。 2 プラットフォームの最初の事業年度は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。
22	資料4	表	経済団体等について、「香川県農業協同組合」を「香川県農業協同組合中央会」に修正。	構成員名称の誤り。	ご意見を踏まえ修正します。
23	資料4	表	「県内大学等」及び「経済団体等」の並びは、五十音順だとわかりづらい。	四年制大学→短大→高等専門学校、企業参加の団体→個人参加の団体→業界別の団体のような並びにした方が良いのではないかと。	ご意見を踏まえ次のとおり修正します。 (県内大学等) 四年制大学(国公私)、短期大学、高等専門学校の修学年で区分し私立は原則開学が古い大学から記載する。 (経済団体等) 企業参加の団体、個人参加の団体、業界団体等で区分し、区分の中では原則構成員が多い団体から記載する。
24	資料5	取組タイトル	各取組タイトルに番号を附番。	表現の修正。	ご意見を踏まえ修正します。
25	資料5	継続事業の表示	「COC+-NEXT」を「COC+-NEXTかがわ」に修正。	名称の誤り。	ご意見を踏まえ修正します。
26	資料5	進学教育	【FD・SD活動】【リスクマネジメントへの取組】【キャリア形成等プログラム】はそれぞれ別の事業なので、分けて記載してほしい。		ご意見を踏まえ修正します。
27	資料5	進学教育	【リスクマネジメントへの取組】【キャリア形成等プログラム】は就職・産業振興部会で扱った方が良くないかと。		ご意見を踏まえ修正します。

番号	資料番号	箇所	内容	修文理由	対応及び考え方
28	資料5	進学教育	【その他広報】(徳島文理大学担当)及び(香川県担当)の表記はまだ担当する団体が決まっていないため、消した方が良いのではないかと。		ご意見を踏まえ修正します。
29	資料5	進学教育	【その他広報】徳島文理大学担当備考欄番号を具体的に説明		ご意見を踏まえ修正します。
30	資料5	進学教育	【その他広報】【キャンパスガイド作成業務】の標記を削除		ご意見を踏まえ修正します。
31	資料5	就職産業振興	【企業説明会】「取組内容」のうち「高松市商工会議所等」の表記は参加団体である「香川県商工会議所連合会等」の方が良いのではないかと。		ご意見を踏まえ修正します。
32	資料5	就職産業振興	【企業説明会】「COC+-NEXTかがわ」の継続事業であるとともに、「大学コンソーシアム香川」の継続事業であることも併記した方がよいのではないかと。		ご意見を踏まえ修正します。
33	資料5	就職産業振興	【企業説明会】令和3年8月開催のかがわーくフェアを令和4年8月開催のかがわーくフェアに修正。		ご意見を踏まえ修正します。
34	資料5	就職産業振興	【自治体等担当者・OB/OGとの懇談会】「取組内容」は、ハイブリッドではできないということが分かったので、現時点では「対面で開催予定。」に修正してほしい。		ご意見を踏まえ修正します。

2 ご提案

番号	資料番号	箇所	内容	修文理由	対応及び考え方
1			幹事は2年で交代できるよう大学等間で協力・調整いただきたい。		2年の任期で次期幹事への引き継ぎが円滑に行われるよう、プラットフォームでの幹事の役割や事務負担等を持続可能なものとするよう構成員で検討していきます。
2			私立大学等改革総合支援事業に申請できるような体制としていただきたい。		構成員や事務局、県が連携して私立大学等改革総合支援事業の申請も踏まえたプラットフォームの取組みを検討していきます。

(案)

大学・地域共創プラットフォーム香川（仮称）部会設置規程

(目的)

第1条 大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「プラットフォーム」という。）に、プラットフォーム規約第13条第2項の規定に基づき、次の部会を置く。

- (1) 進学・教育部会
- (2) 就職・産業振興部会
- (3) 地域活性化部会

(所掌事項)

第2条 各部会は、総会及び運営委員会の方針を受け、次に掲げる事項を所掌し、関連事業を実施する。

(1) 進学・教育部会

- イ 県内進学への促進に向けた県内高等学校等との連携に関する事項
- ロ 県内大学等の情報発信に関する事項
- ハ その他県内進学への促進、教育の向上に関する事項

(2) 就職・産業振興部会

- イ 県内大学等との連携による県内企業への就職促進に関する事項
- ロ 産業振興のための地域と県内大学等の連携による共同研究に関する事項
- ハ PBL（課題解決型学習）及びリカレント教育の推進に関する事項
- ニ その他県内就職・産業振興に関する事項

(3) 地域活性化部会

- イ 県内大学等と連携した地域社会を支える人材の育成及び人材の定着に関する事項
- ロ 県内大学等と連携した地域づくりに関する事項
- ハ その他地域の連携促進に関する事項

(組織)

第3条 部会は、部会員をもって組織する。各部会の部会員は、別に定める。

- 2 部会に、事業を管理する幹事及びその補佐をする副幹事を置く。
- 3 幹事及び副幹事は、部会員のうちから、会長が推薦し、部会において互選により選任する。
- 4 幹事及び副幹事の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5 幹事及び副幹事は、前項の規定にかかわらず、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。

6 部会に、部会長を置く。部会長は幹事の中から選任する。

(事業の実施)

第4条 幹事は、部会員と連携し、所掌事項の関連事業を実施する。

2 関連事業の実施その他必要な事項は、幹事と部会員の協議により定める。

3 総会及び運営委員会の承認を受けていない新たな事業が、部会員から提案された場合においては、所掌事項の範囲内において、幹事の判断により、その事業を実施することができるものとする。

(ワーキンググループ)

第5条 部会は、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループのメンバーは、部会員の中から幹事が選任する。

3 ワーキンググループの所管事項その他必要な事項は、部会が定める。

(事務)

第6条 部会の事務は、各部会の幹事において処理する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会が定める。

附則

1 この規定は、令和4年3月28日から施行する。

2 この規約の施行後、最初に任命される第3条第2項に定める幹事及び副幹事の任期は、第3条第4項の規定にかかわらず、令和6年3月31日までとする。

(1) 部会幹事及び副幹事

	進学・教育	就職・産業振興	地域活性化
幹 事	徳島文理大学	香川大学	香川県
副 幹 事	香川県	香川県	高松大学

(2) 部会員

○県内大学等

番号	構成員	進学・教育	就職・産業振興	地域活性化
1	香川大学	○	○	○
2	香川県立保健医療大学	○		
3	四国学院大学	○	○	○
4	徳島文理大学	○	○	○
5	高松大学	○	○	○
6	香川短期大学	○	○	○
7	高松短期大学	○	○	○
8	せとうち観光専門職短期大学	○		
9	香川高等専門学校	○		

○経済団体等

番号	構成員	進学・教育	就職・産業振興	地域活性化
1	香川県商工会議所連合会		○	
2	香川県商工会連合会			○
3	香川県中小企業団体中央会		○	
4	香川経済同友会		○	
5	香川県中小企業家同友会		○	○
6	香川県農業協同組合中央会		○	○
7	香川県漁業協同組合連合会		○	
8	香川県銀行協会		○	

○行政機関

番号	構成員	進学・教育	就職・産業振興	地域活性化
1	高松市	○	○	○
2	丸亀市			○
3	坂出市			○
4	善通寺市			○
5	観音寺市			○
6	さぬき市			○
7	東かがわ市			○
8	三豊市			○
9	土庄町	○	○	○
10	小豆島町		○	○
11	三木町			○
12	直島町			○
13	宇多津町			○
14	綾川町			○
15	琴平町			○
16	多度津町			○
17	まんのう町			○
18	香川県	○	○	○

(案)

大学・地域共創プラットフォーム香川（仮称）会費に関する規則

第1条 この規則は、大学・地域共創プラットフォーム香川規約（以下「規約」という。）第15条第1項の規定に基づき、会費に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 会費は、大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「プラットフォーム」という。）の事業活動に必要な費用に充てるものとする。

第3条 会費の額については、事業内容等に応じて、毎年度、総会の議決を経て、事務局から規約第4条に定める者（以下「構成員」という。）に通知する。

第4条 事務局は、構成員に会費の請求を行い、構成員は、指定された期日までに会費を納入するものとする。

第5条 事務局は、納入された会費について、直ちに会費台帳（別記様式）に記載し、その経過を明らかにしなければならない。

附則

- 1 この規則は、令和4年3月28日から施行する。
- 2 プラットフォームの最初の事業年度は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとする。

別記様式（第5条関係）

会費台帳

会員氏名	
------	--

区 分	納入年月日	金額	摘要
	年 月 日	円	
年度分			

※摘要欄には、納入遅延その他必要な事項を記入する。

大学・地域共創プラットフォーム香川（仮称）会費

1. 令和4年度における会費については、プラットフォームの事務局・部会の運営に要する経費及び大学等の広報事業に要する経費等をもとに算定し、次の表に記載の額とする。
2. 香川県が負担する会費には香川県立保健医療大学の会費を含むものとする。

○県内大学等（順不同）

名称	会費
香川大学	450 千円
香川県立保健医療大学	—
四国学院大学	450 千円
徳島文理大学	450 千円
高松大学・高松短期大学	450 千円
香川短期大学	450 千円
せとうち観光専門職短期大学	450 千円
香川高等専門学校	450 千円

○経済団体等（順不同）

名称	会費
香川県商工会議所連合会	100 千円
香川県商工会連合会	100 千円
香川県中小企業団体中央会	100 千円
香川経済同友会	100 千円
香川県中小企業家同友会	100 千円
香川県農業協同組合中央会	100 千円
香川県漁業協同組合連合会	100 千円
香川県銀行協会	100 千円

○行政機関（順不同）

名称	会費
高松市	50 千円
丸亀市	50 千円
坂出市	50 千円
善通寺市	50 千円
観音寺市	50 千円
さぬき市	50 千円
東かがわ市	50 千円

三豊市	50 千円
土庄町	50 千円
小豆島町	50 千円
三木町	50 千円
直島町	50 千円
宇多津町	50 千円
綾川町	50 千円
琴平町	50 千円
多度津町	50 千円
まんのう町	50 千円
香川県	3,300 千円

令和4年度事業の当面の取組内容について（項目一覧）

※取組内容は各部会における協議により調整を行う。

部会の別	取組項目	内 容
進学・教育 部会	①出前講座	県内高校への案内・実施
	②合同進学説明会	県内高校での開催
	③公開授業参観	オープンキャンパス等における実施
	④単位互換	対象となる講座内容の拡充
	⑤地域志向科目の情報共有	地域理解、地域連携、キャリア形成に関する科目の大学間共有
	⑥地域理解フィールド実習(集中)の共同開催	自治体と連携したフィールドワークによるプロジェクト型の授業の実施
	⑦FS・SD活動	研修会の共同開催
	⑧香川県立保健医療大学学生へのキャリア形成講座	オンラインによる講座開催
	⑨国際交流	イベントにおける国際交流ブースの出展
	⑩その他の広報活動 ・キャンパスガイド作成 ・その他広報活動	キャンパスガイドの作成・配布 オープンキャンパスの周知ほか
就職・ 産業振興 部会	①インターンシップの推進	インターンシップ受入れ企業の募集・周知
	②企業説明会	合同企業説明会の共催および参加学生の増員
	③企業紹介セミナー	講師による県内企業の紹介
	④企業見学ツアー	オンラインによる見学ツアーの開催
	⑤自治体等担当者・OB/OGとの懇談会	若手社員等と学生との交流
	⑥自治体等職員説明会	公務員、国立大学法人等職員の説明会
	⑦リスクマネジメントへの取組	リスクマネジメント事業の共同開催
	⑧キャリア形成等プログラム	キャリア形成プログラムの実施
地域 活性化 部会	①公開講座	大学等のリレー方式による開催
	②自治体への情報提供	自治体との連携による情報発信
	③大学発香川県ガイドの作成	ホームページによる公開

(案)

令和4年度事業の当面の取組内容について

進学・教育部会関連事業

1 出前講座

(1) 取組概要

取組名	出前講座
取組内容	・ 出前講座の各大学分とりまとめ ・ 県下高等学校への案内発送
取組スケジュール	4月下旬 構成員へ照会（メール） 5月中旬 締切 6月中旬 県内高等学校へ発送及び構成員への周知メール

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
役務費	10,000	県内高校への郵送代（250円×40通）
合計	10,000	

2 合同進学説明会

(1) 取組概要

取組名	県内大学等合同進学説明会
取組内容	県内高校生を対象に県内大学や短期大学の合同進学説明会を開催し、高校生の県内大学や短期大学への理解を深め、進学者の増加を促すことにより、若者の県内定着を促進することを目的として、希望のあった県内高校において開催。
取組スケジュール	<令和4年度事業の準備行為> 令和4年2月～3月 実施高校募集（1次募集） 令和4年3月 1次募集にかかる説明会実施日程・実施高校内定 <令和4年度事業> 令和4年4月～5月 実施高校募集（2次募集） 令和4年5月 2次募集にかかる説明会実施日程・実施高校決定 令和4年5月～12月 合同進学説明会実施

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
旅費	構成員負担	説明会における説明者旅費
合計		

3 公開授業参観

(1) 取組概要

取組名	公開授業参観
取組内容	構成大学・短大・高等専門学校において、通常授業あるいは模擬授業をオープンキャンパス等にて公開授業参観として2校実施する。コロナ禍も想定して遠隔での実施も検討する。
取組スケジュール	<令和4年度事業の準備行為> ～3月末 実施計画検討 <令和4年度事業> 4月～12月の間で実施

(2) 取組予算

(単位:円)

経費区分	取組に要する経費	備考
需用費	10,000	チラシ代
役務費	10,000	チラシ郵送代(送付先:県内高校等)
合計	20,000	

4 単位互換

(1) 取組概要

取組名	単位互換
取組内容	これまでの実施状況の分析・評価を行い、学生のニーズに合わせ単位互換の対象となる講座内容を拡充し、受講者の拡大を図る。
取組スケジュール	4月～3月 実施 1月～3月 実施結果分析・評価・報告

(2) 取組予算

(単位:円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

5 地域志向科目の情報共有

(1) 取組概要

取組名	地域志向科目の情報共有
取組内容	各大学等で開講している科目で、他大学に提供可能な科目のうち、地域理解、地域連携、キャリア形成に関する科目を大学等間で情報共有する。
取組スケジュール	<p><令和4年度事業の準備行為> 令和3年12月上旬 各大学等へ照会 令和4年1月中旬 締切 令和4年2月上旬 各大学等に令和4年1月時点の取り纏め分を情報共有</p> <p><令和4年度事業> 令和4年4月中旬 各大学等に令和4年度最終取り纏め分を情報共有 令和4年12月上旬 各大学等へ照会 令和5年1月中旬 締切 令和5年2月上旬 各大学等に令和5年1月時点の取り纏め分を情報共有</p>

(2) 取組予算

(単位:円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

6 地域理解フィールド実習（集中）の共同開催

(1) 取組概要

取組名	地域理解フィールド実習（集中）の共同開催
取組内容	地域社会について理解を深め、地域に関する知識や関心・意欲を高めるため、自治体と連携し、地域の課題解決に向け実践するというフィールドワークを取り入れたプロジェクト型の授業を大学等で共同開催する。まずは、香川大学の授業において試行し、各大学等の教員・学生が同行して、今後の共同開催の参考にする。
取組スケジュール	4～6月 企画、募集 8～9月 フィールド実習（集中）の実施 10～12月 企画、募集 2～3月 フィールド実習（集中）の実施

(2) 取組予算

(単位:円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

7 FD・SD 活動

(1) 取組概要

取組名	FD・SDの共同開催
取組内容	FD・SDを共同で開催する。
取組スケジュール	年間を通じて、事業等主催校から開催要項等を各構成大学等へ案内し、実施する。

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

8 香川県立保健医療大学学生へのキャリア形成講座

(1) 取組概要

取組名	香川県立保健医療大学学生へのオンライン講座の開催
取組内容	香川県立保健医療大学の学生に対し、キャリア形成に関する講座をZoomによるオンラインで開催する。
取組スケジュール	9月 オンライン講座の開催

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

9 国際交流

(1) 取組概要

取組名	国際交流活動の充実
取組内容	国際交流活動を共同開催する。 香川高専において実施する「サイエンスフェスタ」において、国際交流ブースを出展し、国際交流活動及びPR活動を行う。
取組スケジュール	9 月初旬 国際交流関係展示パネルを連携校へ依頼 10月中旬 展示パネルデータ提出締切 連携校へ開催案内送付 10月下旬 出展準備（パネル印字作成等） 11月5日、6日 サイエンスフェスタ出展 11月中旬ホームページ等で開催報告

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

10 その他の広報活動

(1) 取組概要

(キャンパスガイド作成)

取組名	キャンパスガイド作成	
取組内容	令和3年度に作成した「キャンパスガイド」について、増刷し、同部数(11,000部)を印刷のうえ、県内中学・高校等に配布するもの。	
取組スケジュール	令和4年7月中 令和4年9月末	総会開催・契約締結・校正 印刷・配布

(その他広報活動)

取組名	広報活動
取組内容	①ポスター・リーフレット配布 ②オープンキャンパス周知 ③パンフレットスタンド設置 ④ホームページの充実
取組スケジュール	① 4月末 業者見積書提出・発注 6月 各大学等の原稿提出・校正 6月末 各高校にポスター・リーフレット送付、掲示・配布依頼 ② 7月初 各高校に生徒・保護者・教員の参加依頼 ※公立学校には高校教育課を通して通知 ③ 5月初 各高校に設置依頼・照会 5月 公立学校及び県教育委員会で寄付申込手続き 5月末 寄付申込書送付、参加申込書提出 6月 業者見積書提出・発注 7月 パンフレットスタンド設置、設置完了届提出 ④ 随時 掲載事項の随時更新、内容の充実

(2) 取組予算

(キャンパスガイド作成)

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
委託料	767,800	キャンパスガイド作成・配布に要する経費
合計	767,800	

(その他広報活動)

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
委託料	462,000	(取組内容①関係) 高等学校への発送費用込み
委託料	148,500	(取組内容③関係) 広報媒体設置費(3校)
役務費	1,176	(取組内容②関係) 公立高校以外への郵送料 @84*14校
役務費	1,320	(取組内容③関係) 設置依頼：公立高校・設置済校以外への郵送料 @120*11校
合計	612,996	

就職・産業振興部会関連事業

1 インターンシップの推進

(1) 取組概要

取組名	インターンシップの推進
取組内容	「うどん県お仕事研究インターンシップ」、「実践型インターンシップ」、「PBL手法によるインターンシップ」等のインターンシップについて、学生を受け入れていただける地元企業を募集、調整し、各大学等に情報共有することで、インターンシップを推進する。
取組スケジュール	4月 地元企業に照会 6月 締切、取り纏め 6月下旬 各大学等に情報共有

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

2 企業説明会

(1) 取組概要

取組名	「かがわーくフェア」の共催への参加学生増員と新たな魅力づくり
取組内容	<p>県主催の「かがわーくフェア（合同企業説明会）」を共催し、ワークサポートかがわ、香川県商工会議所連合会等と連携して参加学生の増員と新たな魅力づくりを行う。</p> <p>各大学が「かがわーくフェア」への学生参加を周知するとともに、参加企業の情報提供、キャリア教育プログラムまたは事業として組み込むことを検討する。</p> <p>また、学生が魅力を感じて参加しやすくするため、バスで送迎する等対策を講じることを検討し、1，2，3年生を対象にした職業適性診断テストや自己探求、就職活動の進め方の研修を実施する。</p>
取組スケジュール	<p><令和4年度事業の準備行為></p> <p>【令和4年2・3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークサポートかがわ、香川県商工会議所連合会等と意見調整して令和4年度の取組み案を策定する。 ・8月開催のかがわーくフェアでの独自企画の会場（サンポート）の予約。 <p><令和4年度事業></p> <p>【令和4年4・5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアコンサルタントへの依頼および研修内容の精査。 <p>【令和4年3月～令和5年3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（各大学等の取組み）6・8・3月開催のかがわーくフェアの学生増員のための取組みを実施。 ・（県及び産業界との意見調整）かがわーくフェアのみならず、産業界が実施する勉強会への参加、インターンシップ、奨学金制度等、産業界との意見交換、連携。 ・令和4年8月開催のかがわーくフェア（サンポート会場）で1，2，3年生を対象にした職業適性診断テストや自己探求、就職活動の進め方の研修を実施。

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
使用料・賃借料	30,000 円	二日分の会場費
需用費	5,000 円	資料費
報償費	40,000 円	二日分 90 分×4 回×10,000 円 (キャリアコンサルタント講師料)
合計	75,000 円	

3 企業紹介セミナー

(1) 取組概要

取組名	香川の会社・仕事発見セミナーの開催
取組内容	香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）講師による香川県内の企業紹介。11～12月に対面での開催を予定。
取組スケジュール	11～12月 香川の会社・仕事発見セミナーの開催

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

4 企業見学ツアー

(1) 取組概要

取組名	業種別オンライン県内企業見学ツアーの開催
取組内容	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催する。オンラインで開催するため、短時間で複数の企業を見学することができる。
取組スケジュール	8月下旬～9月中旬 業種別オンライン県内企業見学ツアー開催

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

5 自治体等担当者・OB/OGとの懇談会

(1) 取組概要

取組名	うどん県の自治体で働こう大懇談会の開催
取組内容	香川県内の自治体等の担当者やOB／OGが一堂に集まる大懇談会を開催する。対面で開催予定。
取組スケジュール	9月末 うどん県の自治体で働こう大懇談会の開催

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

6 自治体等職員説明会

(1) 取組概要

取組名	公務員・国立大学法人等職員説明会の開催
取組内容	香川県内の自治体、官公庁、国立大学法人等の説明会を開催する。 対面とオンラインのハイブリッドで開催予定。
取組スケジュール	2月中旬 公務員・国立大学法人等職員説明会の開催

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

7 リスクマネジメントへの取組

(1) 取組概要

取組名	リスクマネジメント事業に関する取組
取組内容	リスクマネジメント事業に関して、共同開催ができるよう内容等を検討し、共同実施を目指す。
取組スケジュール	年間を通じて、事業等主催校から開催要項等を各構成大学等へ案内し、実施する。

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

8 キャリア形成等プログラム

(1) 取組概要

取組名	キャリア形成等プログラムに関する取組
取組内容	社会人のキャリア形成および県内産業の活性化に資するプログラムを実施する。
取組スケジュール	年間を通じて、事業等主催校から開催要項等を各構成大学等へ案内し、実施する。

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

地域活性化部会関連事業

1 公開講座

(1) 取組概要

取組名	公開講座
取組内容	「香川県、讃岐、うどん県」というキーワードに基づき、各大学等によるリレー方式で各自大学等において対面で開催する。参加費無料、事前申込制とする。
取組スケジュール	～6月 講座内容、講師、開催日程等の検討、決定 ～7月 募集用チラシ作成 8月～ 講座参加者募集（チラシ配付、ホームページ、各大学等の広報手段によるもの） 10月～翌年3月 講座開催

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
需用費	33,660	チラシ2,000枚（A4片面カラー印刷）構成大学等で配布。 香川大学、香川短期大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学・高松短期大学が開催予定。
合計	33,660	

2 自治体への情報提供

(1) 取組概要

取組名	自治体への情報提供
取組内容	県内自治体が企画・開催する行事への積極的参加・支援を行うため、県内自治体から県内大学等への情報提供時の提供先情報の周知（一覧の送付及びHPへの掲載）
取組スケジュール	6月～ 大学等の情報提供窓口等の確認 7月 県内自治体へ情報提供およびHPへの掲載

(2) 取組予算

(単位：円)

経費区分	取組に要する経費	備考
役務費	1,428	送付先：17自治体（切手84円×17）
合計	1,428	

3 大学発香川県ガイドの作成

(1) 取組概要

取組名	大学発香川県ガイドの作成
取組内容	大学発香川県ガイドの作成
取組 スケジュール	4月～8月 原稿依頼・作成・公開準備 9月 ホームページ公開

(2) 取組予算

(単位:円)

経費区分	取組に要する経費	備考
—	—	
合計	—	

大学・地域共創プラットフォーム香川設立等に係るスケジュール(令和4年3月25日)

	2月				3月				4月				5月				6月			
	大学等	市町・産業界	香大(coc+)	四学(事務局)	大学等	市町・産業界	香大(coc+)	四学(事務局)	大学等	市町・産業界	香大	部会幹事	大学等	市町・産業界	香大	部会幹事	大学等	市町・産業界	香大	部会幹事
1日								運営委員会準備												
2日					ご意見提出締め切り															
3日					ご意見反映確認依頼(2回目)(幹事内定)															
4日					規約(案)等の確定	設立総会出席者照会・参加部会照会					①担当者連絡先周知②ニーズ調査結果報告③他県参考事例報告準備									
5日																				
6日																				
7日											印鑑作成後口座名義変更									
8日											負担金請求									
9日																				
10日					運営委員会(後日大学コンソーシアム香川総会(書面決定))															
11日								令和3年度事業報告取りまとめ												
12日																				
13日																				
14日																				
15日					ニーズ調査納品															
16日																				
17日		参画依頼完了																		
18日								設立総会打合せ(統合した議案確定)												
19日																				
20日											構成員へ意見や既存の取組例照会	部会開催準備	第1回部会(3部会)(取組例紹介・R4年度事業計画検討・次回部会日程調整)							
21日																				
22日																				
23日								プレスリリース(県カ)												
24日	担当者会							ニーズ調査大学返金												
25日								ニーズ調査業者支払												
26日								コンソ総会(書面)												
27日																				
28日		参画意思確認			プラットフォーム設立総会															
29日								印鑑作成			香大へ引継ぎ									
30日																				
31日																				

2024.6.10

新たな産学官連携の枠組み（プラットフォーム）での協議から取組み実施までの流れ（令和4年3月25日）

【(お願い) 各構成員の窓口の一本化について】

- ・新たな産学官連携の取組みの起点はプラットフォームの事務局（香川大学内に設置予定）が担います。
- ・個別の産学官連携に関する情報や各構成員が感じる課題等の情報を構成員で共有し、新たな取組みにつなげるため、議論したいテーマや連携事業の提案等は原則事務局に行ってください。
- ・なお、これまでの各構成員の個別の取組みを妨げるものではありません。また、すでに事業化されている取組みをプラットフォームに持ち込むことを強制するものではありません。ただし、他の構成員の取組みの参考とするため既存の取組内容について照会させていただく可能性はあります。
- ・構成員は、①事務局からの連絡の窓口、②その連絡内容の組織内周知、③組織内の課題をプラットフォームに持ち込む担当窓口を一本化していただくとともに、組織内の円滑な周知方法の確立を行っていただきますようお願いいたします。

項目	各項目の内容	各構成員の役割					
		事務局	部会幹事	県		経済団体・市町	大学等
			地域活力推進課		事業担当部局		
1	窓口の一本化 各構成員は事務局との連絡窓口を設置し、組織内周知のルートを確認する。	事務局担当者の設置 事務局連絡先の構成員への周知	—	県の窓口を政策 部地域活力推進 課に設置。	—	窓口担当の設置 組織内周知と課題をプラットフォームに持ち込むルートの確立	
2	課題等の持ち 込み 各構成員は組織内の課題等について、連絡窓口から事務局へ持ち込むよう統一する。	課題等の受付	—	窓口での課題等 の受付 プラットフォーム 事務局へ報告	課題等の県窓口 への持ち込み	窓口での課題等の受付 プラットフォーム事務局へ報告	
3	プラット フォーム既存 事業との連携 持ち込まれた課題等について、既にプラットフォームや各構成員で取り組んでいた、取組みを検討している事業と集約・連携する 方が効果的・効率的である場合には事務局主導で関係者に連携の提案を行う。県は状況に応じて事務局のサポートを行う。	既存事業と持ち込まれた課題等 との整理	—	状況に応じて事 務局のサポート	—	—	—
4	課題等の構 成員への報告 事務局は適宜課題等の情報共有を構成員に行う。	課題等の構成員への報告	—	持ち込まれた課 題等の情報受取 と組織内の周知	地域活力推進課 からの情報受取 と担当部局内の 周知	持ち込まれた課題 等の情報受取と組 織内の周知	持ち込まれた課題 等の情報受取と組 織内の周知
5	課題等の関係 者の指名 構成員は持ち込まれた課題等に関係する担当者（有識者や現場経験者等）を組織内から指名する。 事務局と県は連携して部会参加者を調整する。	大学、経済団体、市町、県に聞 き取り、部会参加者を調整	—	県担当部局に聞 き取り、部会参 加者を指名 事務局と連携し て部会参加者を 調整	部会参加者の決 定・回答	事務局と協議の 上、部会参加者 （テーマに積極的 に取組む企業や自 治体内の担当部局 職員）を指名	事務局と協議の 上、部会参加者 （テーマに適任の 教員や地域連携担 当者）を指名
6	部会参加者決 定・周知 持ち込まれた課題等を検討する部会のメンバーを決定し、構成員に周知する。なお、県は原則開催される全ての部会に参加する。	部会参加者の内諾を得て部会参 加者を決定、構成員へ部会参加 者の周知 部会幹事へ引継ぎ	—	部会参加者の一覧受取・追加参加者の検討			
7	部会開催 部会幹事の進行管理の下、部会での議論を実施する。部会の進行にあたり、県は県予算の範囲内でプラットフォームの目的達成に資 する取組みに対して人的・経済的支援を行う。 プラットフォームの外で個別に行う取組みは随時実施する。	部会幹事から部会議事内容 （テーマ・要点等）報告受取	部会開催案内・部会の進行管理 追加参加者の調整 部会議事内容（テーマ・要点 等）について事務局へ報告 取組みの事業計画作成・予算積 算（各部会参加者の負担額積 算） プラットフォームの人的・経済 的負担を伴わず、個別の構成員 で実施する場合は個別に取組み 実施。	部会への参加 プラットフォームや各構成員の取組みの検討 プラットフォームの人的・経済的負担を伴わず、個別の構成員で実施する 場合は個別に取組み実施。			
8	部会で検討し た取組み案提 案 プラットフォームで実施する事業計画案・予算案について運営委員会・総会に提案する。 翌年度の事業計画及び予算の概要については、各構成員における負担金予算確保を確保するため前年度の10月を目途に作成。 11月以降に事業計画が作成される場合や当年度の事業実施計画については、運営委員会・総会の日程調整等事務局と協議の上事業実 施時期を検討する。	部会幹事から事業計画・予算案 の受取 運営委員会・総会への議案提出	事務局へ事業計画・予算案の提 出	状況に応じて事 務局・部会幹事 のサポート	—	—	—
9	運営委員会・ 総会で事業計 画・予算案の 議決 部会からの事業計画・予算を取りまとめ、年間3回程度までを目安として運営委員会・総会で議決・構成員からの事業に係る負担金 支払いを受け、可能な限り速やかな事業実施を目指す。	運営委員会・総会の開催 議決後、事業に係る構成員の負 担金支払い請求	—	運営委員会・総 会での議決に参 加	状況に応じて運 営委員会・総会 に出席	運営委員会・総会での議決に参加	
10	部会での取組 み実施 運営委員会・総会の議決後、部会幹事の進行管理の下、取組みを実施する。	部会幹事への引継ぎ	部会幹事の進行管理の下、プ ラットフォームでの取組み実施	取組み実施			
11	決算・実績報 告 事務局は年度末に負担金の精算を行い、事業実績を取りまとめ。直近の運営委員会・総会の議案提出を行う。	負担金の精算・事業実績の取り まとめ・運営委員会・総会への 議案提出	事務局と連携し当年度の事業の 取りまとめを行う。	状況に応じて事 務局・部会幹事 のサポート	—	—	—

新たな産学官連携の枠組みの構築について

【現状と連携の必要性】

- 今まで、県と大学等の連携のもと地域の人材育成・人材定着などに取り組んできたが、人口減少の進行など地域を取り巻く状況はより一層複雑化しており、根本的な対応策を見出すことは困難になっている。
- 今の延長線上に未来はない状況において、地域が存続するためには、課題に向き合う人材、対応する知見そして何よりも産業界、大学、行政の垣根を超えた連携によるチャレンジが不可欠である。そこで、産官学の垣根を超えた連携により人材・知見を持ち寄り、地域の課題に挑戦するとともに、次世代の地域を担う人材育成のための新たな枠組みを構築する。

【各界の役割と方向性】

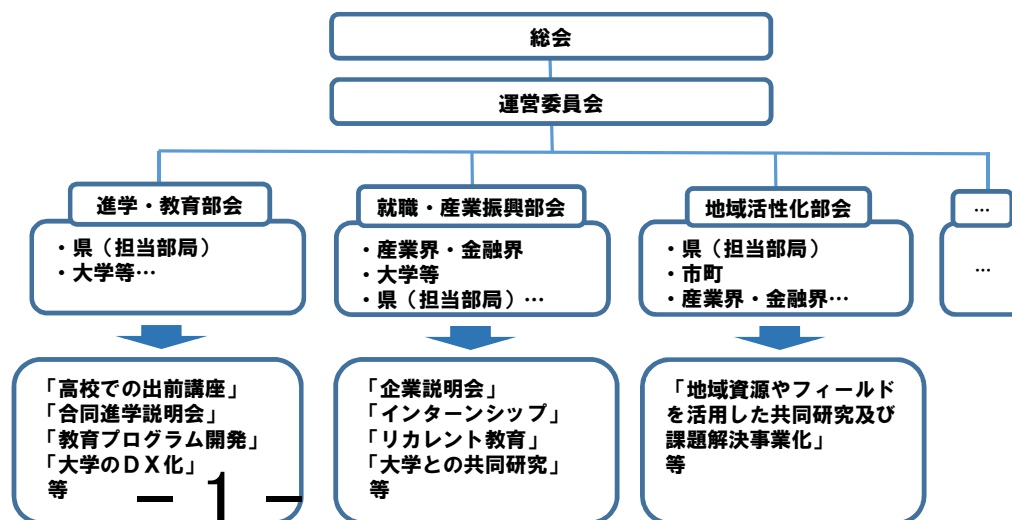
(大学等)質の高い教育機会の確保による人材育成。研究の社会実装化の可能性増。共同研究の推進等。
➤結果として、大学入学者の増や優秀な学生の獲得。

(産業界等)求める人材の確保。
➤結果として、優れた人材の定着。共同研究等による地域産業の振興等。

(地域社会)地域課題の解決。地域活性化。
➤結果として、地域の大学等の魅力向上と活性化の実現による、若者の流出防止、地域社会の維持、人材の確保等。

【実施体制について】

- ・産学官の関係団体等が集まり、プラットフォームを構築。
- ・産業振興や地域活性化、進学・教育等のテーマごとに部会を設置。
- ・部会は、参加を希望する団体で構成されるものとし、実質的な議論・実践の場を創出。
- ・部会に幹事(大学等を想定)を設け、サポート役として県が副幹事で参画し、部会を運営。
- ・それぞれの目的と役割を共有し、連携事業を企画・協働で実施。



新たな産学官連携の枠組みの構築について

【負担について】

- ・部会を運営等するための経費について関係者で負担。
- ・部会で企画・実行される各事業については、関係者が関与の程度を判断。
※県において、各事業の運営に係る経費(関係者の調整など)の一部を負担。

(単位:千円)

事務費・広報費	750万円
(負担額)	
県	300万円
大学等	45万円
経済団体	10万円
市町	5万円

経費項目	負担額	負担内訳		構成員別	
		県	構成員計	大学等	経済団体・市町
事務費	4,800	2,400	2,400	@150	@100・@50
人件費(コーディネーター等)	4,000	2,000	2,000	計1,050	計1,350
部会運営費	800	400	400		
広報費	2,700	600	2,100	@300	-
キャンパスガイド等	2,700	600	2,100	計2,100	
事業費					
個別事業に要する経費		個別事業の参加者で負担額を協議			
計	7,500	3,000	4,500	3,150	1,350

【想定する構成員】

【産業界】

香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県中小企業団体中央会、香川経済同友会、香川県中小企業家同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組合連合会、香川県銀行協会

【大学、短大、高専】

香川大学、香川県立保健医療大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、高松短期大学、香川短期大学、せとうち観光専門職短期大学、香川高等専門学校

【自治体】

県、市町

これまでの大学連携の取組み

【課題】 県外大学への進学、大学生の県外就職による地域活力の低下への懸念

平成27年9月～

大学コンソーシアム香川

県内大学等と県とで構成

★構成大学が順に事務局を担当
若者定着を図る観点から、県内の教育の質の向上と地域社会の発展に寄与することを目的に設置

- ・ キャンパスガイドの発行
- ・ 合同進学説明会
- ・ オープンキャンパスの周知
- ・ 出前講座、単位互換 等

成果の低迷

- 県内大学進学率はほぼ横ばい
(H27 17.7% ⇒ R3 17.2%)
- 県内大学生の県内就職率もほぼ横ばい
(H27 42.8% ⇒ R2 43.3%)

平成27年11月～

COC+

(うどん県で働こうプロジェクト)

県内大学等と県、経済界とが協働実施

★主幹校は香川大学
文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の実施のために設置(～R元)

- ・ 地域志向人材を育成するための教育プログラムの開発・実施
- ・ 県内企業のインターンシップ
- ・ 業界研究セミナー 等

深まる課題

- 止まらない人口減少、若者減少
- 新型コロナの対応、DXの加速化
- 地域人材の育成、地域課題への対応

地域(市・町)も加わった、統合/再編・機能強化による解決

新たな産学官連携の枠組みの構築について(概要まとめ)

★現状と課題

○人口減少が止まらない！

【R2国勢調査】 香川県人口：950,244人(前回調査比▲26,019人(▲2.7%)。過去最大の減少率)
生産年齢人口(15～64歳)が50%を下回る市町が5自治体に増加(前回調査は1自治体)

【R2県人口動態】 香川県出生数：6,255人(H27:7,770人(▲1,515人))

○地域で育った若者の県外流出に歯止めがかからない！

・県内大学進学率 17.7%(H27) ⇒ 17.2%(R3) ➤ 高校生の大学進学時に8割超が県外へ流出
・県内大学生の県内就職率 42.8%(H27) ⇒ 43.3%(R2) ➤ 県内大学生の就職時に約6割が県外へ流出

○一方で感染症やDXへの対応、SDGsの達成、脱炭素社会の実現等困難で社会的な影響の大きい課題が山積

★新たな産学官連携の目的

○地域を支えるのは人(人材)であり、地域の維持・活性化のためには、地域に求められる人材の育成・定着に取り組む必要がある。

○大学等と県だけではなく、産業界や市町等を交えて、求められる地域人材について議論するとともに、議論を踏まえた地域社会・地域経済を支える地域人材の育成に取り組む。

○地域人材が活躍する場を確保し、人材の定着を図るため、地域社会・地域産業の活性化に向け、大学等・産業界・市町の強みを持ち寄り、連携して地域課題への対応・解決に取り組む。

★新たな産学官連携の特徴

○人的負担、経済的負担を行った責任ある主体が集まる場となるため、実質的な議論の場となる。

○必ずしも全員での取組みを前提とせず、テーマごとに部会を設置し、各主体が自由に参加する部会やテーマを選択し、熱量のある主体の取組みの場を形成する。

○事務局を香川大学に設置し、専任の職員を配置する予定であり、活発な取組みが恒常的に行われる運営体制とする。また、県が事務局のサポート役として、庁内関係部局との連絡調整等のコーディネートを行い、議論にとどまらず課題解決の取組みが実現するよう支援する。

○自らが参加する部会以外の取組みの情報を共有し、各主体の効率的・効果的な取組みに活用できる。

※なお、新たな産学官連携は、構成員の既存の連携協定等に基づく個別の取組みを妨げるものではない。

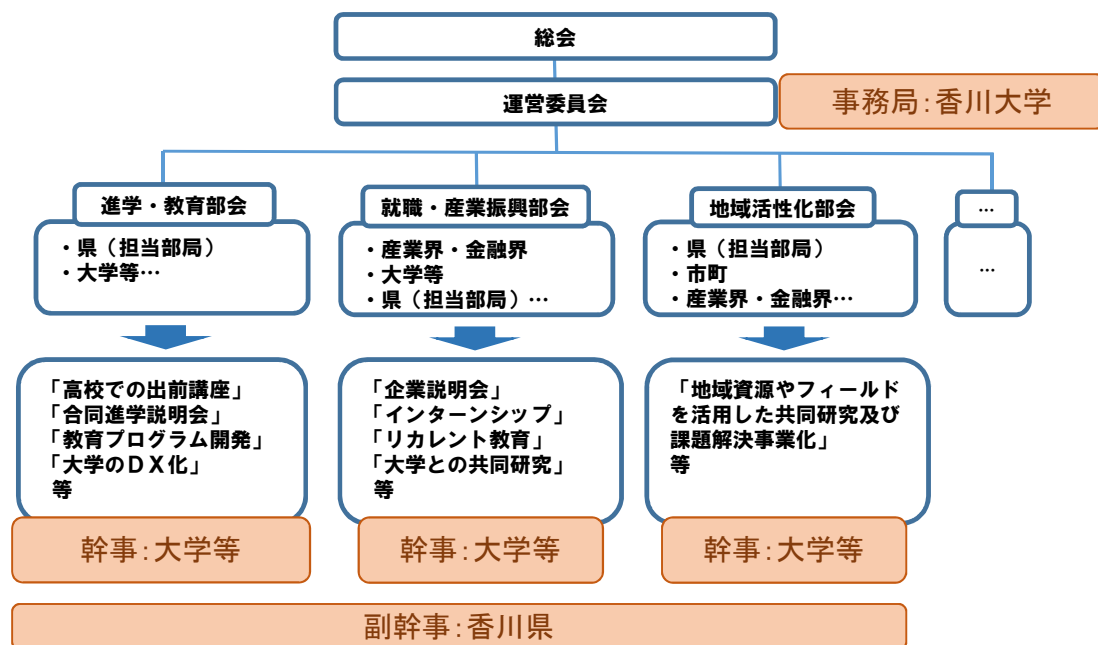
新たな産学官連携の枠組みの構築について(概要まとめ)

★構成員が持ち寄る「強み」

- (大学等)人材育成のための教育、課題対応のための専門的知見の提供
- (産業界等)産業人材が有する実践的なノウハウ、人材育成のためのフィールドの提供
- (市町)直面する地域課題の現場認識、課題解決ノウハウの提供

★実施体制

- ・進学・教育、就職・産業振興や地域活性化等のテーマごとに部会を設置。
- ・部会は、参加を希望する団体で構成されるものとし、実質的な議論・実践の場を創出。



【会長】

香川大学長(持ち回りとせず固定)

【総会メンバー】

(大学等)学長、校長
(産業界等)団体の会長
(市町)首長

【運営委員会メンバー】

(大学等)地域連携統括者
(産業界等)事務局長
(市町)地域連携担当課長

【部会メンバー】

設置当初は運営委員会メンバーを想定しているが、具体的なテーマが決まれば担当部署からの参加。

新たな産学官連携の枠組みの構築について(概要まとめ)

★令和4年度の進め方

- ・COC+と大学コンソーシアム香川で取り組んでいる事業は原則継続実施(大学等の広報費は大学等で負担)。
- ・新組織設立後、各部会で関係者の協議のうえ、令和4年度内に令和5年度からの取組みを取りまとめる。
- ・事務局から令和4年度の新たな取組みの具体案を示し、承認されれば令和4年度に実施する。

(令和4年度を取組みの方向性(例))

<進学・教育部会>

- ・高等学校校長の県内大学訪問ツアー及び意見交換会
- ・進路指導主事会での県内大学の取組み紹介
- ・高校の総合的な探究の時間の企画等における連携

<就職・産業振興部会>

- ・企業経営者を対象としたDX人材育成講座等

<地域活性化部会>

- ・大学と自治体が連携したまちづくりに係るフィールドワーク

資料 7-2 四国職業能力開発大学校の加入についての大学等からのご意見

- ・運営委員会等で今後のプラットフォームの構成員等の体制について議論を深めることとし、四国職業能力開発大学校の加入については令和4年度以降継続的に協議することとする。

四国職業能力開発大学の大学コンソーシアム香川への加入について(回答結果一覧)

大学等からのご意見
<p>1. 四国職業能力開発大学の取組みが大学コンソーシアム香川の設置目的に沿ったものであれば参加希望というご質問に対する意見 第2条目的に『「県内大学等」が相互に連携・交流し、香川県内の教育の質的向上を推進』の文言は文部科学省の定める、高等教育の質保証の推進と大きな関わりをもっていると思いますので、この内容は、今参加している、県内の高等教育機関で行うのがよろしいと思います。他方、後半の『地域社会の発展』の特に、人材育成では、四国職業能力開発大学の参加は意味があると考えます。</p> <p>2. 課題 ただし、人材育成においては、県内の専修学校も同様な事がいえるのではないのでしょうか。 加えて、県内高等学校卒業者の進路先としては、県内の専修学校への進学や県内専修学校から県内企業への就職は、四国職業能力開発大学の数と比べると遥かに多いと予測されます。この様な理由から、専修学校への対応が必要だと思えます。そうなると、メンバー数も多くなり、会費収入は増加しますが、課題も多くなります。</p> <p>課題の例 ①. 現在、県の関連事業の香川県大学等魅力づくりの補助事業や香川県キャンパスメンバーズ制度などの対応 ②. 目的の違う様々な学校種が大学コンソーシアム香川という枠の中で運営ができるのか。 また、岡山のコンソーシアムは、4年生大学を正会員、短大・高専を特別会員としているため本コンソーシアムの組織と異なっている。 以上、今賛成、反対ではなく、この件について、もう少し情報収集をして頂き運営会議などで、メリット、デメリットを検討され、参加の有無を決められてはどうか。</p>
<p>香川県内定着に結びつく対象となる機関であるので、基本的には賛成します。ただ、「大学コンソーシアム香川」であるので、参考として「大学コンソーシアム岡山」のような位置づけで、特別会員というのはいかがでしょうか？</p>
<p>他の構成員の皆様に反対がなければ加入について異論はない。</p>
<p>令和4年度には大学コンソーシアム香川と学生の香川県内定着プロジェクト(通称「COC+ -NEXTかがわ」)とを統合し、組織再編が行われる予定であることから、大学コンソーシアム香川への加入ではなく、令和4年度からの新組織への加入としてはいかがでしょうか。</p>
<p>学長・副学長等と話し合った結果、本学としては異論はありません。</p>
<p>連携の幅を広げることで、広く情報を得ることはコンソーシアムとして有益と考えますので、加入について異論はございません。</p>
<p>構成員が増えることで、香川県内若者定着に繋がること、地域貢献活動や高大連携活動の充実・拡大に繋がることなどが期待される。</p>